

平成28年第1回平群町議会

定例会会議録（第2号）

招 集 年 月 日	平成28年3月3日	
招 集 の 場 所	平群町議会議場	
開 会 （ 開 議 ）	3月3日午前9時0分宣告（第2日）	
出 席 議 員	1 番 山 本 隆 史 4 番 森 田 勝 6 番 植 田 い ず み 8 番 山 田 仁 樹 1 0 番 窪 和 子 1 2 番 馬 本 隆 夫	2 番 城 内 敏 之 5 番 稲 月 敏 子 7 番 山 口 昌 亮 9 番 高 幣 幸 生 1 1 番 下 中 一 郎
欠 席 議 員	3 番 井 戸 太 郎	
地方自治法第121条 第1項の規定により 説明のため出席 した者の職氏名	町 長 副 町 長 教 育 長 会 計 管 理 者 理 事（政策推進課長） 理 事（総務防災課長） 理 事（都市建設課長） 理 事（教育委員会総務課長） 理 事（上下水道課長） 税 務 課 長 住 民 生 活 課 長 健 康 保 険 課 長 観 光 産 業 課 長 総 務 防 災 課 参 事 福 祉 課 主 幹 福 祉 課 主 幹 福 祉 課 主 幹	岩 崎 万 勉 中 島 伊 三 郎 岡 弘 明 瓜 生 浩 章 大 浦 孝 夫 経 堂 裕 士 植 田 充 彦 西 本 勉 島 野 千 洋 西 脇 洋 貴 上 田 武 司 辰 巳 育 弘 寺 口 嘉 彦 橋 本 雅 至 今 田 良 弘 乾 宏 美 松 本 光 弘
本会議に職務の ため出席した者 の職氏名	議 会 事 務 局 長 主 幹 主 任	上 田 昌 弘 田 中 裕 美 竹 村 恵
町 長 提 出 議 案 の 題 目	第1号に同じ	
議 事 日 程	議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。	

平成 28 年 第 1 回 (3 月)
平群町議会定例会議事日程 (第 2 号)

平成 28 年 3 月 3 日 (木)
午 前 9 時 開 議

- | | | |
|--------|----------|--------------------------------------|
| 日程第 1 | 議案第 17 号 | 平成 28 年度平群町一般会計予算について |
| 日程第 2 | 議案第 18 号 | 平成 28 年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別
会計予算について |
| 日程第 3 | 議案第 19 号 | 平成 28 年度平群町国民健康保険特別会計予算に
ついて |
| 日程第 4 | 議案第 20 号 | 平成 28 年度平群町水道事業会計予算について |
| 日程第 5 | 議案第 21 号 | 平成 28 年度平群町下水道事業特別会計予算につ
いて |
| 日程第 6 | 議案第 22 号 | 平成 28 年度平群町農業集落排水事業特別会計予
算について |
| 日程第 7 | 議案第 23 号 | 平成 28 年度平群町学校給食費特別会計予算につ
いて |
| 日程第 8 | 議案第 24 号 | 平成 28 年度平群町介護保険特別会計予算につい
て |
| 日程第 9 | 議案第 25 号 | 平成 28 年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予
算について |
| 日程第 10 | 議案第 26 号 | 平成 28 年度平群町後期高齢者医療特別会計予算
について |

再 開 (午前 9時00分)

○議 長

皆さん、おはようございます。

議席番号3番の井戸議員より、体調不良ということで、本日の会議を欠席する旨の届け出がありましたことを御報告いたします。

ただいまの出席議員は11名で定足数に達しておりますので、これより平成28年平群町議会第1回定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

(ブー)

○議 長

本日の議事日程は、お手元に配付しております議事日程表のとおりです。日程表に従い議事を進めてまいります。

- | | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| 日程第1 | 議案第17号 | 平成28年度平群町一般会計予算について |
| 日程第2 | 議案第18号 | 平成28年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について |
| 日程第3 | 議案第19号 | 平成28年度平群町国民健康保険特別会計予算について |
| 日程第4 | 議案第20号 | 平成28年度平群町水道事業会計予算について |
| 日程第5 | 議案第21号 | 平成28年度平群町下水道事業特別会計予算について |
| 日程第6 | 議案第22号 | 平成28年度平群町農業集落排水事業特別会計予算について |
| 日程第7 | 議案第23号 | 平成28年度平群町学校給食費特別会計予算について |
| 日程第8 | 議案第24号 | 平成28年度平群町介護保険特別会計予算について |
| 日程第9 | 議案第25号 | 平成28年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算について |
| 日程第10 | 議案第26号 | 平成28年度平群町後期高齢者医療特別会計予算について |

以上10件を会議規則第37条の規定により一括議題といたします。

初日、町長より平成28年度の予算説明を受けておりますので、議案の朗読を省略し、提案者の提案理由の説明を求めます。

まず初めに、議案第17号 平成28年度平群町一般会計予算についての提

案理由の説明を求めます。政策推進課長。

○政策推進課長

それでは、議案第17号 平成28年度平群町一般会計予算につきまして、御説明申し上げます。

○議長

はい、説明の前に、課長、資料も多く、時間も長くなりますので、着席しての説明を認めます。

○政策推進課長

御配慮ありがとうございます。それでは、着席をさせていただいて、御説明申し上げます。

議案第17号 提案理由説明

○議長

はい、御苦労さまでした。

続きまして、議案第18号 平成28年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。税務課長。

○税務課長

議案第18号 提案理由説明

○議長

御苦労さまでした。

続きまして、議案第19号 平成28年度平群町国民健康保険特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。健康保険課長。

○健康保険課長

議案第19号 提案理由説明

○議長

はい、御苦労さまでした。

10時55分まで休憩をいたします。

(ブー)

休 憩 (午前10時37分)

再 開 (午前10時55分)

○議長

それでは、休憩前に引き続き再開をいたします。

(ブー)

○議長

続きまして、議案第20号 平成28年度平群町水道事業会計予算についての提案理由の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長

議案第20号 提案理由説明

○議長

御苦労さまです。

続きまして、議案第21号 平成28年度平群町下水道事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長

議案第21号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第22号 平成28年度平群町農業集落排水事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長

議案第22号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第23号 平成28年度平群町学校給食費特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

議案第23号 提案理由説明

○議長

御苦労さまでした。

続きまして、議案第24号 平成28年度平群町介護保険特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。福祉課今田主幹。

○福祉課主幹（今田良弘）

議案第24号 提案理由説明

○議長

はい、続きまして、議案第25号 平成28年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

議案第25号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第26号 平成28年度平群町後期高齢者医療特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。健康保険課長。

○健康保険課長

議案第26号 提案理由説明

○議長

はい、御苦労さまでした。

各議案の質疑については、最初に平成28年度予算全体に対する質疑を行います。続いて、一般会計については歳出全体の質疑を行い、その後、歳出の各款ごとに行い、続いて歳入全体について行います。各特別会計、水道事業会計については、会計ごとに質疑を行います。

まず初めに、これより平成28年度予算全般についての質疑に入ります。はい、山口君。

○7番

もう入ってるんだったらやりますけど、できたら休憩とっていただいて、昼からじっくりやらしていただいたほうが。

○議長

いや、続けます。どうぞ。

○7番

ああ、そうですか。

じゃあ、全般について質問させていただきます。今回の予算、基本的に相当な財源不足という一般会計になってるわけですけども、その前段としてですね、今年度、もう3月に入ってますから、出納閉鎖までまだ2カ月、3カ月近くありますけども、今の段階で、27年度、今年度ですね、決算見込み、まず財政当局としてはどのように見てるのか。それをまず最初にある程度ですね、話してもらって、で、今年度の全般についてですね、質問したいんですが、その点、どうでしょうか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

山口議員の御質問でございます。27年度の決算見込みというところでございます。まだ出納閉鎖、終わってございませんので、確定した数字ではございませんが、ある程度の推移といいますか、ざくっとした方向性という部分で御説明申し上げれたらなというふうに考えております。

まず27年度の予算でございますが、当初予算編成の段階で、未確定財源並びに用地の売り払い、それも含めた未確定財源ということで、4億1,000万程度の財源不足からスタートしたところでございます。

その後、数回の補正、9月補正、12月補正によりまして、一定、国の交付税なり交付金といった財政出動、財政支援のもと、一定の改善に努めてまいっ

たところでございます。結果といたしまして、4億1,000万ございました未確定財源が、12月の補正の段階で約1億1,000万まで一気に圧縮することができたというのがまず一つございます。

その上で、基金の関係でございますが、当初、9月補正また12月補正の段階で、基金の積み立てを1億6,000万程度やる予定でございました。今回、昨日可決賜りました補正の中で1,600万ほど取り崩しさせていただきました、予算上でございますが、基金の積立額が約1億5,000万というふうに考えております。単純に相殺いたしましたら、基金に積み立てる分と未確定財源の分と単純に差し引きをいたしましたら、約5,000万程度の予算上の黒字ということになってございます。

当然、この後、これから出納閉鎖を迎えまして、予算全体の不用額というのが発生するかなというふうに考えております。通常、1億、2億単位の未確定財源ということでございますが、27年度につきましてはかなり予算編成当初から絞り込んだ予算措置をしておりますので、純然とした不用額というのは余り期待できないのかなということでございます。それでも予測といたしましては、仮にですけど1億円程度不用額が、純然とした不用額が発生をしましたら、収支見込みといたしましては1億5,000万程度黒字が出ればいいなというふうな思いは持ちながら、推計はしておるところでございます。

○議長

はい、山口君。

○7番

昨年秋の住民説明会のシミュレーションでは、もう既に27年度は1,400万円の赤字と。もともとその前の年の秋のシミュレーションでは2億5,000万の赤字になってたんですが、それが1,400万。今課長答弁あったように、今まだわかりませんが、それが1億5,000万の黒字になったらうれしいなということですけども、全体と見ればそうなると思うんです。もともと未確定財源、土地売り払いは、私あんまり、売れるもんやと思ってたんで入れてなかったんですが、3億6,167万9,000円っていうのがもともと今年度当初の未確定財源、単年度で言えばね、なっていたわけですけども、それでね、今年度、もちろんこれどうなって、特に地方交付税がね、2億2,000万ほど、特交も入れればね、あ、ちゃうわ。特交、ことしまだ決まってへんね。特交入れずに2億近い、1億9,900万ぐらいのふえ方をしてるということもあって、大きく変わったんだと思うんですが、そこでこの新年度の予算ですけどもね、単年度で見て、さっき説明あった雑入のその他が2億以上、それから基金の取り崩しが2億5,000万でしたっけ、両方で4億4,600

0万。それに要するに土地が、この間、売れてない土地の売り払い収入がですね、5,000万、五千五、六百万あるわけですね。ほんならもう5億。これは、ずっと平成20年から見てるんですけども、当初予算で5億も足らず米ってというのは、20年度が4億1,200万でしたから、その後、大きいのは25年の3億4,600万。ああ、そうか、今年度の3億6,100万ってありますけどね、5億超えてくるっていうのは初めてですよ。もちろん説明あったように、清掃センターのダイオキシン対策で2億4,500万の支出があるということで、一方でね、し尿が1億1,000万減ってるんですけども、そういう状況なんですけれども、ただ、この間ね、さっき言ったように予算、当初予算では未確定財源は、財源不足は出てるんですけども、結局、結果として平成23年の9,275万の赤字以外は、このときはちょっといろいろ、駅周の金が出る、八千幾らかが来なかったとか、ちょっとそういうのがあったということもあるんですが、大体黒字になってるんですね。特に平成24年は3億2,300万の、要するに歳入不足がありながら、1億5,000万の黒字。

こういうふうに見てくると、5億でも大丈夫なのかなと。最終的に決算ですよ、もちろんわかりませんが、そういうふうに見込んでるのかなと、当局は。その点、どうですか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

山口議員の御質問でございます。確かに今年度の予算の財源の内訳という部分でお述べいただいたところでございます。今年度につきましては、当初予算ベースで、今申し上げられたように、2億500万程度のまず未確定財源、並びに用地の売り払いということで、2億6,000万程度の未確定財源からのスタートというところでございます。

それにあわせて、財調基金の捉え方をどういうふうに見るかというところでございますが、約2億4,000万の財調基金の引きおろしということで、財源不足については5億ということで、今現時点での歳入歳出の予算総額での財源不足という部分では5億ということで、お述べのとおりかなというふうに、まず数字の上では理解をしております。

その中で、ここ数年来の決算の状況ということ、先ほど申しました27年度の予算におきましても、4億1,000万程度の未確定財源の中から黒字が生まれ出せる要因ができたというところがございます。ただ、28年度につきましては、当初予算の段階でかなり見込める財源については見込んだつもりでございます。そういう部分では交付税であったり交付金といったものについても、

なかなか27年度とおり入ってくるかどうかというのも非常に疑問視をせなならんところですが、その確保に向けて努力はしていくところでございます。単年度での収支という部分で言いましたら、申し上げましたように、2億4,000万、財調基金からの取り崩しというところでございます。28年度、まだ予算、御審議いただく前のことで、決算のこと言うのも大変僭越でございますが、実質単年度という部分では非常に、黒字化できるかどうかというのは非常に、何といいますか、非常にまだハードルの高い収支になってるのではないかなというふうには思っております。未確定財源それ自身は、実質収支には反映される部分でございますので、単年度ベースで言いましたら、28年度の黒字化というのは非常に厳しいのかなというふうな見込みは持っておるところでございます。

○議長

はい、山口君。

○7番

今年度、黒字、まだわかりませんが、財政が好転した要因として地方交付税があるという話でした。今年度の地方交付税の見込み、当然国の地方財政計画に基づいて算出してるわけですがけれども、でも、去年もおととしも2億円以上の乖離、よいほうによかったわけですがけれども、だから予算編成時点ではそれ、見込んでなかったわけでしょう。新年度を見るとね、普通交付税の18億4,000万円でしょう。去年は、今年度の当初では17億5,000万だったのが19億874万2,000円来たわけですね。この辺の見込み違い。普通、基準財政需要額と収入額の差で見るわけだから、そんなに乖離が出ることはないはずなんです、それが出たと、2年連続で出ると。ほんで、この前からちょっと議論の中でも言っていましたように、人口の減り方の激しいところほどちょっと足してもらえんというふうな、今までとはちょっと逆のね、今の政府がある意味、全体的に人口が下がる中で歯どめをかけると、地方創生という思いもあるんでしょうけども。そういう中で、たまたまなのかうまくいったのか、ふえたというのがあるんですね。

それと、平群町の場合、一番大きい個人住民税が大幅に下がっていると。当然、住民税下がればその75%は補填ということになるわけだから、1億下がれば7,500万ふえるわけですからね。そういうこともあるんでしょうけども、ここをね、どう見るかっていうのは大きいと思うんです。それ、まずここをどう見るのかっていうのが1点。僕は、だから歳入全体でじゃないんやけど。

それと、きのうの補正予算で加速化交付金っていうのがありました。国は今回、新年度予算のほうでは地方創生推進交付金というのを、それからもう一つ

は、子育て何とかっていうのもあるんですよね。こっちは金額、小さいですけど。地方創生推進交付金っていうのは、当然もう既に町のほうは事業内容を申請、県通じてしてるのかなというふうに、これも昨年度みたいに全ての自治体に最低限幾らかは当たるとのことじゃないので、事業内容によって国のほうが判定して、採択されるかどうかっていうのがあるんですね。そこは、どのような事業を申請しているのか。まだ申請してないなら、どのような申請をしようとしてるか。これ、新年度予算には上がってないですよ。その確認も含めて、どうでしょうか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

山口議員の御質問でございます。まず1点目の、交付税の考え方でございます。議員述べられたとおり、ここ数年来、特に27年度につきましては、当初予算よりかなり大きな乖離、ある意味、うれしい話なんですけど、大きな乖離があって、交付税の増額が見込まれたというところでございます。交付税でございますので、かなり個別算定であるとか、算定方式も複雑になっておりますが、27年度については、国もいわゆる地方創生的な、地域の元気創造費であるとか、人口減少対策の特例措置ということで、かなり大きな費用について基準財政需要額の中で見込んでいただいたということでございますので、そういったものが反映されて、大きな交付税の増額につながったというふうに考えております。

こういった課題につきましては、当然まだ国の、政府の方針も含めて、まだまだ地方創生、これから頑張っていかなあかんという部分でございますので、そういった部分で今年度、28年度の交付税についても、そういった特段の個別の要因というのが加味されるということを含んでおるところでございます。そういうことを期待しておるところでございます。とはいえ、あくまで予算という段階でございますので、交付税の予算措置につきましては、本年度20億8,000万ということで措置いたしておりますが、普通交付税につきましては、ことしといいますか、いわゆる算出基準をもとに、地財計画では交付税、若干全体では減額になっておりますので、そういった部分も含めて見込んでおるところでございます。

2点目の、地方創生の交付金の関係でございます。昨日、補正の中で議決賜りました加速化交付金、これにつきましては3月議会で補正通していただいて、いわゆる俗に言う15カ月予算という形で繰り越しさせていただいた上で執行していくというところでございます。

28年度の推進交付金でございますが、交付金の事業概要については、一定、国、県を通じて承知はしておるところでございます。具体的には、これはあくまで基本的に、画一的に市町村に、一元的、画一的な交付の補助金、交付金ではございません。いわゆる特色ある事業をそれぞれの自治体が頑張っていく、推進をしていくということでの事業補助金でございますので、なかなかハードルの高いところもあるのかなど。補助につきましても、たしか全額補助ではなしに、2分の1補助であったというふうに聞いておりますし、ハード整備であるとか個人給付的なものについてはなかなか補助対象になりづらい、なりにくいというふうにも伺っております。

そういう中で、28年度のまだ補助申請等については行っておりませんが、現在作成しております平群町のまち・ひと・しごと総合戦略に基づきまして、なるべく平群町の財源並びにまちづくりに資するような事業、これからちょっと頭を絞って上げていきたいというふうに考えております。ですので、おっしゃったように、28年度の今、現予算の中には包含はされていないということでございますが、今後ちょっとその辺は対応していきたいというふうに考えております。

○議 長

山口君。

○7 番

今出た推進交付金、2分の1というか、1,000億の、国が1,000億で地方が1,000億、要するに出した分だけそっちも出して事業しなさいということで、今、課長説明あったように、昨年までのように給付には使えない。それは加速化交付金も一緒ですよ、今年度。去年まではだから多くの自治体で医療費の、子どもの医療費の拡充などに相当使われたっていうふうに聞いてますから、そこは大分違うんだろうなというふうに思いますが、しかし、これはしっかりとっていただいでですね、住民の福祉に寄与できるようにしていただきたいというふうに思います。

それと、さっきちょっと、もう一つと言ったのはね、今ここに、地域少子化対策重点推進交付金っていうのが、これはそやけど27年補正、国の補正で25億円、で、新年度当初で5億円ってこうなってるのを、平群町は手を挙げたんかどうかわかりませんが、こういうのもあるのでぜひそちらのほうもですね、検討していただきたい。

それから、今ちょっと出た平群町まち・ひと・しごと創生総合戦略。これは、国の方針に基づいて全ての自治体で作成すると。これ、12月のときに、これ、全員協議会でしたっけ、案でもらいましたけど、もうこれはあれですか、でき

上がっているんですか。きのうの町長の新年度予算の概要説明でしたっけ、そこでは、提案理由か、提案理由のところでは4つの基本目標というふうにおっしゃってたけども、その点はどうでしょうか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

山口議員の御質問でございます。おっしゃられた平群町のまち・ひと・しごと総合戦略の策定でございますが、昨年より策定委員会のほう、数度開催をさせていただきまして、本年2月にある程度の取りまとめを行ったところでございます。内容的なものについては、ほぼほぼもう確定をしたというふうな段階でございます。今、最終的な整理ということで、内容の軸であったりとか、記載の書きぶりであったりとか、そういうものを今チェックをしておるような状況でございます。これ、作成期限というのが3月末までというふうになってございますので、もちろんそれまでには作成は終わるところでございますが、今もうほぼ、策定の段階といたしましてはもう最終的な局面を迎えておるといいますか、最終的な調整を行っておりますので、ほぼできたような状況にはなっております。

○議長

はい、山口君。

○7番

そのことが予算に反映するっていうふうな町長の言葉でしたから、12月のときに議会からも相当要望が出てますよね、この問題で。そういうのも全部取り込んで、もう1回議会のほうには報告してもらえるんですか。3月31日までってもう、まあ、きょうはまだ3日ですから、まだちょっと時間はありますけども、当然そういうふうに予定されてるんでしょうね。もう予算にはもちろん反映さしていったるんだらうけど。

予算審議でこんなこと聞く、今そういう話やったからちょっと気になるんですが、それだけでやったら質問、答えられないかもわからないんで、この問題で、町長の提案理由でですね、総合戦略の4つの基本目標、若者が住みたくなるとか、子育てしたくなるとか、新たな雇用と交流とか、地域を守り地域をつなぐっていうことですね。これはもう言葉としては誰も反対しませんわね、当然。そうなってほしいと、こう思います。これらを実現するっていうための施策を盛り込んだっておっしゃってたんですけども、私、予算書、隅から隅まで見ましたけど、どこに盛り込まれてんのかなってすごい疑問なんです。最初の質問とあわせて、どこに、盛り込んだ内容をちょっと説明してもらえます

か。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

ただいまの御質問でございますが、当然予算編成方針の中で、昨日町長のほうから総合戦略の概要について御説明申し上げたところでございます。個々に、どの科目にどういうふうに盛り込んだというのはなかなか、予算科目、ぎょうさんございますので、というところでございますが、ただ、それぞれで言いましたら、代表的なものだけでもちょっと簡単に御説明申し上げましたら、例えば若者が住める、住みたくなるという部分では、今年度、企画費の中で定住促進奨励交付金の予算措置もしております。また、子育てや……。

「何て、もう1回言って」の声あり

「定住奨励……」の声あり

○議長

定住のやつ。

○政策推進課長

はい、定住促進奨励交付金でございます。の今年度から交付が、実際の支給が開始をしたところでございます。また、子育てしやすいという部分で言いましたら、既存の事業と合致するかもわかりませんが、こども園の設置並びに子ども医療費ということで、今までやってる事業をさらに延伸をしていくというところでの取り組みもございます。また、地域を守り地域をつなぐという部分でございますが、ここは地域農産業の奨励促進ということで、平群ブランドであるとか、そういうふうな地域の産業を興すような仕掛けづくりみたいなものも含めて、一定、観光費等々で予算措置をしておりますので、そういったものを包含いたしまして、総合戦略の中で反映をしていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長

山口君。

○7番

結局何もないんですよ。今のおっしゃったのはもう2年前にできて、ただたまたま今年度から予算が要るって話じゃないですか。あのね、だから前から、ほかの議員の皆さんもおっしゃってると思うけども、ええんです、いろい

る提案っていうか、こういうのをされるのは。ただ、それを実現するための具体的な施策と事業をね、展開しないと、何ぼこんなんいっばいつくったってどうにもならないじゃないですか。

例えばね、出生率が平群町、これなんかでもそうやし、ここの、そのとき一緒にもらった人口何とかっていうので見れば、もう1.07でしょう。その前は1.03やから、ちょっと上がったんでしょうけどね。でも、今あっちこっちで子育て支援で一生懸命やってるとこなんかやったら、2.81のところがあるんですよ。岡山県の奈義町っていうとこなんかは。ほんで前からしょっちゅう出てる、私も大分以前に行きました、長野県の下條村とか、ね。あそこらはあのとき1.99か2.何ぼかでしたわ。どんなことやってるかって知ってるでしょう。だから、思い切った施策をせないかん。

町長、こんだけね、議案、要するに提案理由のところこの4つを挙げて、それをですね、実現するための施策を盛り込んでますって書いてるんですよ。答えられないじゃないですか。盛り込んでないんですよ。だから、いや、答えられない話じゃないですか。ここに、この前12月にもらった書いてあるやつ、これずっと見たら、いいこと書いてあるんですよ、いっぱい。でもね、実際具体的な施策になるとね、全部ね、大体これまでやってるやつと、ほんであとはいこれからやるような、やるとは書いてないね、これからやったらいいなみたいな書き方ばかりなんです。もうちょっと具体的にね、やっていただきたいなというふうに思うんですよ。

だから、そこんどこでね、さっき言った推進交付金とかを使ってですね、それこそ知恵なんですよ。その知恵を出してもらわなあかんのに給料カットするからやね、知恵も出てこない。と私は思うんですよ。やっぱりそこは、だからマンパワーっていうのはそういうことなんですよ。金使うだけじゃなくって、と私は思いますんで、全体としての質問はそれだけです。

それと、資料請求しておきます。去年から平群町が借りてる土地借上料ね、もう全部項目、あっちこっちわたってるんで、全くわかんないんで、これ、いつもどおり1本にしてですね、過去の数字とあわせて。それと、この前から出してもらってる、今の地価ですね。それとの計算で平群町の基準で幾らになって、実際払ってるのは幾らかっていう資料は、毎年出してもらってるから簡単だと思いますので、全般としてはそれだけ要求しておきます。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

今、山口議員のほうから資料請求ございました土地借上料の資料でございま

す。これにつきましては、週明けの予算、資料としてお出しをさせていただきます。

○議長

質疑の途中でございますけれども、午後1時40分まで休憩いたします。

(ブー)

休 憩 (午後 0時10分)

再 開 (午後 1時40分)

○議長

それでは、休憩前に引き続き再開をいたします。

(ブー)

○議長

引き続き、新年度予算全般についての質疑に入ります。森田君。

○4番

例年お願いしておりますんですけども、人件費及び臨時職員の賃金の一覧表、人数と一覧表、資料提供、提出をお願いできますでしょうか。

それとですね、今回、課別ですね、正職と臨時職員の。といいますのは、町長が「職員が減った減った」言われるんですけども、職場の机の数は一向に減らないということですので、言う方がいらっしゃいますので、その部門別というんですか、課別の正職と臨時職員。それと臨時職員の賃金ですね。失礼、もう結構です、今の、ごめんなさい。

それとですね、電算委託の一覧表ですね。これも昨年度もお願いしておりましたので、それはお願いいたします。

それと、車ですね。今回も買いかえなり、また新たにリースいうんですけども、それがわかるように、現在3月末でどうで、新しくどの部門になるんだという一覧表をお出しいただけませんか。

それとですね、先般、マスコミ報道ですけども、PCBの、一覧表じゃないんですけど全体ということで、PCBの処理が期限つきに、蛍光灯とか変圧器の中に入れる絶縁材です。非常に危険ということで、それは時限的にはもう処理場がなくなるとかですね、まあ、ちょっとそれによく似たことが報道されましたので、もうそういうものがないのか、町内、町の施設で。

発言する者あり

○ 4 番

いやいや、残ってないかということをお願いだけ。だから、それだけちょっと確認だけしていただきたい。これはもう非常に、カネミ油で問題になったやつなんですけども、それが処理する期間なりですね、処理場が、これ、北海道にあったと思うんですけども、それがもうなくなるとかなくならんとかいう話、法律も含めてありましたので、それがあつかないかの否も、御回答、あればどこにあるかということだけ教えてくださいませんか。

以上です。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

森田議員の資料請求が、1点目が人件費及び臨時職員の賃金の一覧表。それから、課別の正職、臨時職員の配置の一覧表。それから、車リース、3月末で車のリースに関する一覧表。それから、4点目のPCBの処理ということについてはですね、ちょっと私のほうで把握しておりませんが、恐らくというのはちょっと言葉足らずかわかりませんが、石綿の処理とかというのは、もう町内では処理もして済んでいるというふうに思ってますし、そのほかのところについては、体に害のあるような施設というのは現在ないというふうに思っておりますが、確認を再度させていただきたいというふうに思います。

以上です。

○ 議 長

政策推進課長。

○ 政策推進課長

森田議員から請求のございました資料請求でございますが、電算委託料の一覧表につきましては、改めて作成の上、提出させていただきます。

○ 議 長

はい、山田君。

○ 8 番

1点だけ。前年度ももらってるんですけど、公共施設の電気料金の予算措置、公共施設別にお願いをしたいんです。よろしくお願ひします。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

山田議員の資料請求でございます。公共施設の電気の資料一覧表を提出させていただきます。

○議 長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

はい。ないようでしたら、平成28年度予算全体についての質疑を終わります。

続きまして、議案第17号 平成28年度平群町一般会計予算の質疑に入ります。

まず、歳出全体に対する質疑から行います。窪君。

○10番

まず、新年度予算編成に当たり、大変厳しい中でございましたが、県や国の交付金も活用しながら予算編成をしていただいたことに、まずもって感謝申し上げます。

そこで、まず1点、資料請求をさせていただきたいんですけれども、今回、太陽光パネルですね。これ、5カ所の施設に予算計上されていると思いますが、この5カ所と既存、数年前からあります、町内にあります太陽光発電パネルの既存のものを一覧にさせていただきまして、発電量と、また蓄電、また電気代の削減等々、そういうわかりやすい資料の提出をまずお願いしたいんですが。

○議 長

住民生活課長。

○住民生活課長

太陽光の公共施設への設置状況、それから28年度の予定も含めましてですね、一定まとめまして資料を提出させていただきます。

○議 長

窪君。

○10番

ありがとうございます。

それと、昨年12月議会でも提案をさせていただいたんですが、平群町スマイル宣言をして、笑顔の挨拶運動をしてはどうかということで、岩崎町長のほうも先頭を切って、まず職員から、庁内からやっていきたいと。また、教育長のほうも、この前の婦人会の70周年でしたかね、60周年やったのでしょうか。

「70周年」の声あり

○ 1 0 番

70周年の記念のときも、子どもたちにもしっかりと挨拶の運動を取り組んでまいりたいという御挨拶もされて大変うれしく思いましたが、新しい年度に当たりまして、どのような取り組みを考えられているのかお尋ねしたいと思います。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

12月議会にですね、窪議員の質問等で答弁をさせていただいておりました。その件につきましてですね、やはり挨拶運動というのは非常に大事なことであります。大人も子どももですね、互いに声をかける声かけ、挨拶運動をいろいろと、面で推進をしてきたところではありますが、さらに推進をしていきたいというふうに思っております。さわやかな挨拶が各地域でかわされるような、スマイルが似合う、そんなすてきな町になることを願ってですね、登下校、あるいは交通安全運動の期間、あるいは登下校で立哨していただいている、平群町内に交通安全関係で約100名、それから教育委員会のほうでの交通安全指導していただいている方が100名おられます。平群町に200名おられます。当然ですね、そういうことで私たちも、職員もですね、挨拶運動ということで、こういうたすきをですね、ビニールであります、たすきに「挨拶運動推進中」という表示と、後ろに、もう一つのほうには「交通マナーを守ろう」という、そういう表示をさせていただいて、立哨時にそれを、たすきをかけていただいで、子どもたちあるいは住民の方も含めて、お互いに挨拶運動できるような、そういう体制を4月から、新年度からとっていきたいというふうに思っておりますので、それにつきまして、今現在、各交通安全協会あるいは学校の、教育委員会を通じまして、学校のほうにお願いをしているところでございますので、4月の立哨時から始めていきたいというふうに思っております。

以上です。

○ 議 長

窪君。

○ 1 0 番

大変ありがとうございます。やっぱりいろんな、平群町も少子・高齢化、また人口減少、財政厳しいということで、課題がたくさんありますけれども、そういうときだからこそやはり笑顔というのは大事であります。全力で前へ進めさせていただきたいと思えます。

それと、もう1点ですけれども、役場庁舎内でも本当に、なかなか笑顔で挨拶というのはなれないと照れもあります。言葉の「先手必笑」という言葉がこの前載ってたんですが、先手必勝の勝いうのは「勝」って書くんですが、「勝」を笑顔の「笑」って書きまして「笑」といいますが、先手で笑顔で返すということが相手の心を開くということはこの前新聞に書いてまして、私も大変感動しました。やはり役場庁舎内でも、庁舎内に住民の皆さんが来られた時に、まず役場の職員の皆さん、また私たちもしっかりとまず自分から声を出していくこと、大事だと思うんですが、役場の庁舎内の職員さんの取り組みですかね、何か御検討されてますでしょうか。

○議長

総務防災課長。

○総務防災課長

まずはやはり役場の職員からですね、住民さんが役場に来られたときには、やっぱり笑顔で接するというのは、これが第一番になります。今現在、私のほうで考えておりますのは、各課でですね、写真入りを、例えば私でしたら、こういう「挨拶をします」とか、「スマイル、笑顔」っていうふうな、こういう自分なりの考え方の表示で写真を撮ってですね、各課で挨拶をしていくという、そういうそれをポスターにしてですね、各課に張っていただいて、それをすることによってね、自分がみずから行動を起こしていけるというふうに考えておりますので、まずは総務から実践していこうということで、今、総務の職員にも私、声をかけましてですね、やっていきたいと思っております。これは上からというんですか、指示をするということじゃなしに、これはやっぱり自主的に各課で取り組んでいただくというのが、これ、基本やというふうに考えておりますので、まずは総務のほうからこういう取り組みを行って、各課に広めていきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長

窪君。

○10番

大変ありがとうございます。これは現実に、笑顔は、挨拶はお金が一切かかりませんので、今、総務防災課から取り組んでいきたいということで、後ろでも聞かれてると思っておりますけれども、町民、私たちも議会を初め、全てがやはりそういう明るく前向きに平群の町を、まちづくりに一つの大きなソフトの部分の大事な部分ですので、町長を初め、教育長、皆さんにはどうかよろしくお願ひしたいと思っております。

以上です。

○議長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、歳出全体に対する質疑を終わります。

続きまして、一般会計歳出の各款ごとに審議をしたいと思います。

まず、初めに議会費について質疑に入ります。43ページから44ページまでです。山口君。

○7番

資料だけで結構です。44ページの郡議長会負担金、直近の予算書と決算書。それから、同じく44ページの7町広域圏議長会負担金、これ、新規だと思えますが、まずどういう経過で新規で。これは、だから新規ですね。新規やから、予算書、決算書、ないわね。予算書はあるのかな、ないわね。これからですよ。ほしたら、これ、なぜ上げることになったのか。じゃあ、これまでどうしてたのかだけ説明いただけますでしょうか。

○議長

局長。

○議会事務局長

ただいま山口議員さんからの、資料請求の件につきましては、郡の議長会の直近の決算書と予算書、準備させていただきます。

もう1点ですね、王寺周辺広域市町村圏議長会の負担金、これは28年度新規で10万円計上しておるんですけども、今までの経過を若干説明させていただきます。

平成26年度まではですね、王寺周辺広域市町村圏の協議会のほうから、補助金としていただいております。27年度からはですね、その補助金につきましては広域の市町村圏の協議会のほうからはなくなりましたので、生駒郡の議長会からですね、27年の分については、この1年分だけに限って郡の議長会のほうから負担金としていただいていたということで、27年1月28日に王寺周辺市町村圏の議長会の会議が開催されまして、協議の結果、27年度より各町のほうで予算を組んでほしいということでありましたんですけども、先ほど言いましたように、生駒郡4町については郡の議長会のほうで若干お金があったということで、郡のほうからいただいたということでございました。28年度につきましては、郡の議長会のほうからは出ないということで、各町

で予算計上してほしいという旨の通知がございましたので、28年度からは平群町におきましても10万円の予算計上をしたという経過でございます。

以上です。

○議長

はい、山口君。

○7番

平群町で10万円、7町で70万前後でしょうね、多分。ほんで、私は議長なったことないので、何をされてるのかよくわかりませんが、何に使うんですかね。70万の、7町の議長会で。今までそれぐらい使ったから、これまでの必要だという金を計上されてるんだと思うんですけどもね、主には何に使われてるのかだけ説明いただけますか。

○議長

はい、局長。

○議会事務局長

ただいま山口議員さんからの質問の件なんですけども、王寺周辺広域市町村圏の議長会の事業としましては、まず正副議長さんの研修ということでございます。もう1点が、先進地の視察研修に充てるということで聞いております。

以上です。

○議長

ほかございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議会費に対する質疑を終わります。

続きまして、総務費に対する質疑に入ります。44ページから60ページまでです。植田君。

○6番

46ページの委託料で、清掃委託料ということで28年度は367万2,000円と上がってるんですが、前年度比で127万4,000円というふうにふえてるんですね。これ、清掃の部分で大きく何か28年度はやるということでこんだけふえたのか、ふえた理由ですね。それを1点、お聞きをしておきたいと思います。

それと、47ページの町有バス運行管理業務委託料。これも44万円ほど前年度からふえてるということなんです。26年度予算からいったら、ほぼ倍に

28年度はなってる状況なんですけれども、町有バスの運行状況ですね。これ、多分運行を委託、運転手を委託をしてるというふうには思うんですけれども、どういう運行状況になってるのか。稼働率とか、あるいはどういう団体が使ってるのかとかいう、一定のね、そういうものがわかるものを資料として出していただきたいと思います。今現在、こういう状況でどんどんふえてきてるとかっていう状況があるのであれば、御答弁いただけたらというのが1点。

それと、その下の宿日直業務委託料。これも前年度比で114万1,000円ほどふえてるんですね。それまでは多分、一定の金額で来てたと思うんですが、28年度、500万超えて委託料がふえてるっていうのはどういう状況なのか。宿日直の中身が変わるのかどうか、そこら辺も含めて、100万単位でふえてるので、ちょっとどうなのかなということでも質問させていただきます。

○議長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

植田議員さんの御質問でございます。まずですね、清掃委託料とですね、それと宿日直委託料、これにつきましては、今年度、入札をする準備をしております。

○6番

入札ですか。

○総務防災課参事

はい。ですんで、この金額については、一応見積もりをとったらこの金額になったということで、今後入札をしたらぐっと落ちてくるというふうに考えております。

あと、それと町有バスの出庫状況でございます。平成22年度が112回出庫しております。平成23年度は126回、平成24年度は128回、平成25年度は137回、平成26年度におきましても131回出庫しております。年々出庫数が伸びておるといふような状況でございます。

以上でございます。

○議長

はい、植田君。

○6番

清掃委託料と宿日直のほうは、一応概算で出して、これから入札で下がってくるだろうということなんですけれども、今までもそう、こういう入札ってされて、何年かに一遍されてきたんですか。ちょっと私、そこら辺わかれへんの、そこについては御答弁お願いしたいと思います。

それと、町有バスの運行管理業務のところについては、今大体件数がふえてきたというのはわかりました。一応、どういうところが利用されてるのかも含めての稼働率がわかるようなもんをちょっと資料として出していただきますよう、はい、お願いします。

○議 長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

町有バスの資料については、資料をですね、提出させていただきます。

あと、清掃委託料とですね、宿日直委託料の関係でございます。これにつきましては、平成22年度に一度入札をしまして、そして5年間入札をしてないというような状況でございます。ですんで、5年も入札をしてないということで、入札をして、適当な金額にということで、ということでございます。

○議 長

植田君。

○6 番

5年間してなかったのですということなら、これ、ほんたら今後も5年に一遍するのか、それとも毎年やっていくのか、そこら辺の方向性はどんなふうにとっておられますか。

○議 長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

この契約についてはですね、今非常に安くしてもらってますねけども、入札につきましては5年に1回はやっていきたいというふうに考えております。

○議 長

植田君。

○6 番

5年に1回やっていきたいということは、ほんたら5年間に、今回やりますよね、そしたら5年間はそこでずっと、まあ言うたら契約をするという、そういうことでよろしいですね。

○議 長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

毎年見積もりはとりますねけども、その金額がですね、大幅に上がったたりしない限りはそのようにしてまいりたいと思うてます。

○議 長

植田君。

○ 6 番

いや、だからどういう契約になるの。5年に一遍入札して、一定、1年間の入札、1年間の契約、決まりますよね。それっていうのは、毎年やっぱりそれは契約金額というのは変わるということでやっていかれるんですか。

○ 議 長

総務防災課参事。

○ 総務防災課参事

一応ですね、見積もりの金額については、これまで5年間一緒であったということでございます。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

この清掃管理業務につきましてはですね、過去、5年前に入札をしたということで、ただ、入札した後にですね、やはりこちらのほうの、例えば業務がふえる、例えば細かく言えばですね、トイレももちろん掃除していただくんですけども、こちらのほうから業務をどんどん追加していくとですね、会社とその人は、業務で来られてる人とうちとはいわゆる契約関係ではございませんので、あくまで会社との契約関係の中で、その人にいろいろとあれもこれもとお願いをするとこも現にございます。ですので、業務がふえれば、若干、年によってはそれは金額が上がってくるということになりますが、少なくとも5年という単位じゃなしにですね、もう少し業者と話をする中で、3年とかその範囲の中でやっぱり入札もかけていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

○ 議 長

植田君。

○ 6 番

いや、勝手にそんなんでできるんですか。会社と、まあ言うたら派遣会社と平群町が契約してるわけでしょう。来てはる人は派遣会社から派遣されて来てるわけやから、一定、会社と平群町が契約してる中身以上のものを勝手にその人に要求なんかできないでしょう。だから、そんなことしたら、問題でしょう、それは。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

すみません、答弁、ちょっと私、そういうふうに行った答弁じゃないというふうに、誤解やと思いますけども、当然業務の中にはですね、例えば業務をしていただくときには会社と話ししてやっぱり業務をしていただくというふうにもしておりますので、契約以外の業務は基本的にはあんまりできないというふうに思っています。

ただ、業務、職員の中でですね、例えば業務以外でしていただくときには、もちろん会社を通してやっぱりやっておりますので、その人の直接、その人との間の中でそういうことはしていないということで、御理解いただきたいと思えます。

○議長

植田君。

○6番

ようわかってわからないけど、基本的には法的にね、問題のないような形だけはちゃんととっていただきますようお願いしますね。

○議長

馬本君。

○12番

今、町有バス運行管理業務委託料。回数がふえたから前年度予算85万6,000円が今度は129万6,000円という計上になってんねけど、その回数だけ違うて、実質運転士さんの1時間の単価が増額された予算じゃないですか。その点どうですか。

○議長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

馬本議員さんの御質問にお答えしたいと思います。町有バスですね、この予算につきましては、1時間当たりの単価が1,000円以上アップをしております。ですんで、金額も上がったということでございます。それとですね、回数もふえておるということでございます。

○議長

はい、馬本君。

○12番

回数分ぐらいええねけど、1時間単価が1,000円ほどね、違うということが一番大事なことから、それ、御答弁抜けてたんやと思うたんで、私の調査とちょっと違うたんで。それで結構でっせ。

○議長

窪君。

○ 1 0 番

5 2 ページの防災諸費ですけれども、防災備蓄ですね。昨年度より 4 0 万以上増額計上なんですけれども、今、分散備蓄 1 3 カ所でしていただいております。その備蓄品のわかりやすい一覧と、新年度でどの部分をまたふやすのかということ、わかる一覧をお願いしたいと思います。

それから、福祉避難所がこども園等々の関係でいろいろ変わったと思いますので、その場所との一覧を資料として請求したいんですが、よろしいでしょうか。

○ 議 長

総務防災課参事。

○ 総務防災課参事

防災備蓄品の資料と、それと避難所のわかるような資料、提出したいと思います。

○ 議 長

はい、窪君。

○ 1 0 番

すみません、あともう少し。それと、防犯灯の L E D 化ですね、各自治会の。昨年度も資料を出されてたと思うんですけれども、自治会の L E D 化の進捗状況がわかるような資料は出せますでしょうか。

○ 議 長

住民生活課長。

○ 住民生活課長

昨年も資料請求いただきまして出しております。ことしにつきましても同様な形で、進捗状況も含めてわかるような形でお出ししたいというふうに思っております。

○ 議 長

はい、窪君。

○ 1 0 番

よろしく申し上げます。それで、1 つ、最後。今回新しく防犯カメラを設置をしていただき、新年度でしていただく形になっております。県の補助、半分補助になっておりますが、場所と何基かですね。今現在わかる範囲でお答え願いたいと思います。

○ 議 長

住民生活課長。

○住民生活課長

県ですね、地域防犯力の向上の強化事業というものを活用いたしましてやる事業でございます。これにつきましては、一定の住民の方も参加した協議会みたいなのをつくりまして、その中でいろいろ協議していくと。ほんで、一応、今のところ予算としてはですね、4基分という形で見えておりますけども、当然機種の内容によりまして設置台数もまた変わってきますし、当然その中にまた警察の方も入っていただいて、いろんなアドバイスもいただいて、どういう機種がいいのか、どの場所がいいのかも含めて検討していきますんで、ちょっとその辺のところは今のところそういう予定をしておるだけで、今後の事業の中で確実に進めていきたいというふうに思っております。

○議 長

窪君。

○10番

ありがとうございます。協議会というのは、地域も、どのぐらいの範囲でというのはもう今、御検討されているのでしょうか。何名かでとかいうのは。

○議 長

住民生活課長。

○住民生活課長

今、具体的にはですね、これで決定ということではないんですけども、今、既存の防犯協議会等もありますんで、そういうふうなんも活用しながらですね、やっていきたいというふうに思っております。詳細につきましては予算通りましてから、十分先進地の状況も確認してやっていきたいというふうに思ってます。

○議 長

植田君。

○6番

51ページの、説明のときにもありましたが、定住促進奨励交付金が今年度からスタートするという事なんですが、現在までの申請ですね。何件ぐらい上がってるのか、ちょっと聞いておきたいと思います。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

植田議員の御質問でございます。定住促進奨励交付金でございますが、要綱等で定めをしておりますが、申請につきましては6月の1日から受けさせていただくというふうなことになってございます。ほんで、予算措置に対しての対

象者の方でございますが、現在、新築並びに中古物件ということで、平成26年の4月からの施行でございますので、対象者の方、カウントしながらでございます。現在、大体約110件ぐらいの方が対象になるのかなというふうに予想はしておるところでございます。

あわせて、当然申請漏れがないようにということで、現在広報等におきましても、対象になる方を含めて、御案内の記事等で周知はしておるところでございます。

○議長

植田君。

○6番

これからの受け付けだと。問い合わせ等は結構来てるわけですか。どんな状況ですか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

植田議員の御質問でございます。ちょっとどのぐらいの頻度でっていうことではございませんのすけども、対象になる方、窓口でちょちょことお尋ねにはいただいております。お尋ねいただいた方につきましては、今申し上げた、説明並びにこういう形でっていうふうな、時期も含めて御案内させていただいているところでございます。

○議長

高幣君。

○9番

52ページの防犯対策費。ここでちょっとね、私、わからないんですが、工事請負費で設置工事212万、維持補修工事。これ、防犯対策の中での工事ということですから、もうちょっと詳しくお教え願えますか。どういう内容のことか。

○議長

住民生活課長。

○住民生活課長

先ほど窪議員の質問にもありました、防犯灯の設置や防犯カメラの設置ですね。その部分と、この設置工事の中にはですね、それから、既存の町のほうでやっております、町が設置すべき防犯灯というんですか、通常いつも組んでおります。その部分とを含んだ形で予算計上させていただいております。

○議長

高幣君。

○ 9 番

55ページにあるんですが、これ、税務課長ですかね。鑑定委託料、55ページの。これ、結構大きな金額で、事務委託料が1,070万ですから、結構大きな金額が出てるんですけども、それから、その後ろで載ってますのが電算委託、この辺は電算機使うんですからと思いますが、ちょっと鑑定委託料ということは具体的にどういうところを鑑定するのか、お教えいただきたいんです。

○ 議 長

税務課長。

○ 税務課長

鑑定委託料です。これについては497万円、前年よりは増加しております。増加理由につきましては、固定資産税の3年に1回の評価替えに伴い、土地の固定資産標準値の不動産鑑定費用が必要となってくることから、今年度新たに計上させていただいています。一応96地点で、1ポイント当たり5万4,000円で計上しております。

○ 議 長

高幣君。

○ 9 番

ということは、そこで固定資産税の評価ですから、プラス側に響くようなものなんでしょうか。そのあたりはどうでしょうか。

○ 議 長

税務課長。

○ 税務課長

地価の状況ですねけども、まあまあ、まだ平群町についてはまだ下落傾向にあるということでもありますので、一部、都市部では上昇傾向にありますけども、平群町についてはまだちょっと若干下落になるかなというふうに考えております。

○ 議 長

山口君。

○ 7 番

資料で47ページの郡町村会負担金。これも直近の予算書と決算書。それから51ページの広域市町村圏協議会負担金。これもですね、直近の予算書と決算書を資料として出していただけますでしょうか。

○ 議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

ただいま山口議員のほうから資料請求ございました、生駒郡町村会の直近の予算・決算書、並びに王寺周辺広域市町村圏協議会の予算・決算書につきまして、改めて御提出させていただきます。

○議長

はい、植田君。

○6番

53ページの負担金補助及び交付金のところの、奈良県急傾斜地崩壊対策事業負担金、これ、当初より相当伸びてきてるんですが、事業の完了の見通し、今後の町負担がどれぐらいになるのか、ちゃんと、決算のとき聞いたのかもしれないねんけど、そっから変わってないのかどうかも含めて、事業完了の見通し等、お聞きをしたいと思います。

○議長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

奈良県急傾斜地崩壊対策事業の関係でございます。県に確認しますと、一応計画的には28年度で完了するというふうになっておりましたが、若干遅れてまして、今の感じでは29年度までずれ込む可能性があるということをお聞きしております。

以上でございます。

○議長

植田君。

○6番

55ページの賦課徴収費のところ、役務費の手数料。コンビニ収納などが始まって、それに対する手数料として、これ、530万ほど上がってるんですが、実際それをスタートして、コンビニ収納等でどれぐらい収納率が上がったというふうに評価されてるのか、件数的に捉えておられるのか、あれば、それが全体の収納率の中の何%ぐらいを占めるのか、どういう評価をされてるのかお聞きをしたいと思います。

○議長

税務課長。

○税務課長

今年度4月から、一応コンビニ・ペイジー収納、始めております。まず、1月末の時点での利用実績ですけれども、固定資産税についてはコンビニ納付が3,917件、利用率が14.9%。

○ 6 番

17. ね。

○ 税務課長

14. 9%です。それと、軽自動車税については、コンビニ納付が2,033件、利用率としては36.3%、町県民税については、コンビニ納付が1,768件、利用率としては15.7%となっております。また、コンビニ収納によります、コンビニでは土曜日曜、祝祭日、金融機関の休みの日も納めることができるんですけども、4月から1月末の実績で、1,702件が利用されております。

それと、徴収率ということなんですけども、対前年度同期の比較では、若干伸びているということになっております。それと、特に軽自動車税で言えば、軽自動車税の納期限が5月末なんですけども、それについては期限内納付というのはかなりふえております。26年度で40.6%が、27年度では47.1%ということで、期限内納付が高くなっております。

それと、ペイジー納付でいきますと、パソコンの利用をされてる方が651件、あとスマートフォン等、モバイルで納められてる方が1件等があります。

そういうことで、納付のチャンネルがふえたということで、納税者の利便性の向上が図られたというふうに考えております。

○ 議 長

植田君。

○ 6 番

聞いてて悪いねんけど、全部なかなかとれなかったんで、今の分をちょっと一覧で出しといてもらえますか。お願いします。

○ 議 長

税務課長。

○ 税務課長

資料として出させていただきます。

○ 議 長

山口君。

○ 7 番

今の件ね、利便性よくなったのは、それはいいんです。要するに手数料に見合うね、税収があるのかどうかっていうのも、やっぱりそこも見ないとだめなんです。大きいね、面積がめちゃくちゃ広い町ならともかくね、平群町ぐらいの規模で、ここの役場へ持ってくるか南都銀行へ持っていくか、そこの、時間帯のことは別にしてですよ。コンビニ何軒あるかいうたら、東山と北信貴ヶ丘

と、三里とでしょう。ちょうど場所はええところにあるんです、地理的には。いや、だからそこを知りたいんです。それができてますか。要するに、今まだ1月末の時点ですけども、それを見ないとね。要するに収納はそのことで、今まで例えばですよ、90%やった収納率が95とか97とか98に伸びた。でも、平群町、もともとすごい高いでしょう。だから、そこんところを見ないと、手数料、すごい高いからね。ほんで、ここだけじゃないでしょう。国保もあれば、介護もあるのかな。だから、介護はほとんど特徴やからあれやけど、国保はあるわね。だから、そこはちょっとしっかり見ないとね。コンビニの金儲け、コンビニもこんないっぱいやって、忙しくて大変みたいですけど、全部そっちへ仕事を集中してっていう。それでももちろん、職員のほう、税務課の人が職員少なくて済んだっていうのがあるんだったら、それも含めて答えていただけますか。

○議長

税務課長。

○税務課長

コンビニ納付につきましては、固定資産税については町外もありますので、その方がたくさん利用されているのかというふうに考えております。

それと、人につきましては、人件費につきましては7月に1名減というふうな形で、その辺については費用対効果はあらわれているかなというふうに考えております。

○議長

はい、山口君。

○7番

いや、違うやん、だから収納ふえたのとちゃんと全部比べて、要するにペイジーやったことで平群町の財政にいい効果をもたらしたのか。手数料払ってんのよ。ただでやってもうてんなら、それはそれで収納率上がりゃええけど、払ってる金に見合ってるんですかという、そこをちゃんと検証してますかという話やからね。それしないと、それもしないと意味がないでしょう。いや、利便性よくなったのはええ。それは住民にとってはうれしいことなんです。町にとってそのことがね、どれだけのプラスになったかっていうのは、国保会計のほうも含めて見る必要があるから。いや、あかんとか言ってるんじゃないかって、そこも検証せんと意味ないでしょっていう話をしてるんですよ。だから、そこは今の話やったら人件費1人減った、1人減ったんやったら、その1人分の給料は浮いたわけでしょう。だから、そういうことをちゃんと検証してもらって、いや、これやったことでこんだけの金が平群町にとってはですね、プラスにな

りましたっていうのを出してもらわないとあかんから、じゃあ、それも月曜日までに出していただいて。まあまだ1月、10カ月分になりますけども、ことし始めたところなんで、今年度始めたところなんで、それはちょっと資料で出してもらえますか、じゃあ。

○議長

税務課長。

○税務課長

すみません、資料として出させていただきます。

○議長

森田君。

○4番

産業医ですね、45ページの。これ、毎年上がってる費用は理解できるんですけど、2名で産業医のほうでやっておられるというふうにわかるんですけども、昨年12月1日から労働安全衛生法が改正になって、50人以上の事業所に対してそういうことをやらないといけないということで、やるという御答弁をいただいてたと思うんですけども、ここかどうか知らない、その予算はどっかに計上されてるんでしょうか。このページしか考えられないんですけど、この総務費しか。

○議長

総務防災課長。

○総務防災課長

ことし、去年一部試行ということで実施をして、要するに市町村下の、県のですね、奈良県市町村組合のほうで、ウェブによる診断というのを一部やりました。それは試行的にやったわけですが、ことしは本格的にそういう事業所に義務づけられておりますので、ウェブと、ウェブでできない方は紙ベースでそういう診断をしていくということで実施を。そこについては、予算、特には経費についてはかからないということで思っております。

この産業医の2名につきましてはですね、やはり職場でのそういった精神的なところでの部分で御指導いただいているということで、この2人につきましても引き続いてですね、産業医として職場に復帰する場合には、先生に診ていただくとか、いろんな形で助言、あるいは職場に復帰する際ですね、指導医ということで現在していただいておりますので、大変我々もこの医師2人についてですね、人をですね、職員のそういう精神的なところでカバーしていただいているというふうに思っております。

以上です。

○議 長

森田君。

○4 番

求めてない答弁までいただきまして、ありがとうございます。私は絶対お金が要ると思いますので、何か時間がとられるわけですから。職員何百人のことをやってですね、データを蓄積してやっていかないとというふうに私は聞いておりますので、それはきっちりまた補正でも上げて、きっちり職員の健康管理を徹底していただくことをお願いしておきます。

ちょっと私、わからない、コミバスはどこに入ってますかね。ないんですか。

「繰越明許に入ってる」の声あり

○4 番

ああそうか、ごめんごめん。そしたらそれで結構ですけど、これでこのところ、言うべき例のあれですね、例の予算ですけども、斑鳩町との共用にこれから使えるようになったというふうに聞いてるんですけども、そのデータ、議員にも資料をお出しただけなら一番ありがたいんですけども、わかる範囲。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

斑鳩町のコミバスもですね、竜田川ネオポリスのほうに今までも入っておりますが、平群町の今のバス停をですね、斑鳩町も利用して、利便性という意味ですか、乗り合い、いわゆるそのバス停を利用して斑鳩町もそこに利用させていただくということで、斑鳩町から申し出がございましたので、これは公共交通会議のほうの承認も必要になってきますので、そこに諮って承認をさせていただいたところであります。バス停の位置あるいはルートについては、資料として後日提示させていただきます。

○議 長

森田君。

○4 番

できれば、悪いんですけど、ダイヤがわかれば一番ありがたいんです。わかるようなものは、いつから実施も含めて、予定でも結構ですから、資料でお出しいただきたい。

それとですね、先ほど植田議員から急傾斜地の話があったんですけどね、今、櫛原に入るところが北幼稚園のところで封鎖されてるんですけども、がけ崩れか

何か。あれはこの対象になる工事じゃないと思うんですけども、私、きのう通ったらあそこは入れなかったんですけども、それは関係ないんでしょうかね。

○議長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

奈良県が行ってます急傾斜地崩壊対策事業の工事現場につきましては、北小学校のですね、西側の北幼稚園の下から櫛原へ上がっていく道、あそこののり面を工事をしています。

○議長

森田君。

○4番

私、見た、間違ってるかどうかしれないですけど、入れなかったからバックしたんですけども、北幼稚園ののり面だというふうに理解していますんで、その工事でしょうか。はい。

○議長

総務防災課参事。

○総務防災課参事

今おっしゃったとおりでございます。

○議長

いや、櫛原路線のところ、違うの。

○総務防災課参事

そうです。

○議長

稲月君。

○5番

59ページの選挙費のところなんですけども、あんまり費用には関係ないと思うんですが、一昨年のもれの衆議院選挙のときに、投票所で選挙方法についての説明が間違っただというのがありましたよね。

「ありました」の声あり

○5番

ありましたね。私が言ったんで、覚えてます。そこでですね、もう本当に初歩的な間違いやったってということで、非常に私も忘れられないんですが、それもお一人の職員の方が間違えられたというふうなことではなくって、どの職員

に聞いてもみんな同じ答えをされたっていうことで、私は非常に疑問、そのときはまだ一町民でしたけれども、疑問に思いました。やっぱり今度、参議院選挙、控えています。比例代表、同じように比例代表の選挙もありますしね。選挙方法、よく変わるんでね、そこはしっかりと職員全体でね、皆さんが選挙の投票所には配置、ほとんどの方が配置されるということなんでね、そういった研修っていうんか、意思統一の場をきちっと設けていただいて、二度とこのようなことがないようにね、ぜひしていただきたいというふうに思っています。別にお金はかからないとは思いますが、紙の1枚など使うやろうと思うんで、その辺で一言言わせてもらいます。

それとですね、もう1件は、55ページ、徴税費の中のあれなんですけど、ここに書いてあることがどうこうっていうわけではないんですが、確定申告の説明会っていうのが県の事業ということでやられてると思うんですが、どんどん数が少なくなって、町民にとっては遠いところに出向かなければならないというのが今の実態やと思うんです。多くの方たちはインターネットを使ってそういう手続きができるという状態には確かになっているんですけども、高齢者の方とか、インターネットなんかはもう一切よう使わんと、家族もみんな出でおらへんという方たちにとっては、確定申告の説明会っていうの、非常に大切な業務であるっていうことで、住民の方からもここ数年、何とかふやしてほしいというね、話も持ち込まれています。この辺で、県でできへんということであつたら町もでけへんということに財政的にはなるんだと思うんですけどもね、やっぱり納税をしてもらわないかんというね。そういうことではそういうシステムっていうんか、そんな事業も考えてもらえないかっていうふうに思っています。

○議長

税務課長。

○税務課長

ここに負担金に上がってる確定申告の説明会会場、説明会については、これについては事業者向けの説明会ということで、これは税務署のほうがやってる部分なんですけども、今、議員言われた分については、納税相談の分の件だと思うんですけども、去年まではいかるがホールとか生駒の図書館で開催をされてたんですけども、28年、今年度から斑鳩ホールもなくなったんですけども、これにつきましては生駒郡の税務課の中でもいろいろ協議いたしまして、一応、町長名で申告会場をふやしてくれと、なくさないでくれというような形で要望書を提出さしていただいたんですけども、これについては奈良税務署のほうも国税庁からの指示があったということで、開催されなくなったというような形

で通知が来ております。

○議 長

稲月君。

○5 番

その点では、何とかね、できないか、町のほうでもぜひ検討してほしい。自分でやるとかね。そんなんしたら法に触れるんですかね、よくわかんないんですけど、その辺の検討は要るのではないかなっていうふうに私は思います。

○議 長

税務課長。

○税務課長

所得税につきましては、一応、国税というような形になってるんですけども、一応町民税の申告については税務課のほうで受けておるんですけども、なかなか国税、所得税の関係ありますので、ただ、町で受けるというようなことについてはなかなかちょっと難しいかなというふうに考えております。納税相談、来られた方については、相談等については行わせてもらいますけども、申告要るということについてはちょっとできないというふうに考えております。

○議 長

稲月君。

○5 番

その前に、1点目に質問いたしました選挙のほうは、何らかの形でよろしく。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

そういう、前回選挙であったということで聞き及んでおりますし、私も大変遺憾というふうに思っております。この夏の、7月の国政選挙につきましてはですね、職員に徹底をして、そういうことのないように努めていきたいというふうに思っております。よろしく申し上げます。

○議 長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、総務費に対する質疑を終わります。

続きまして、民生費に対する質疑に入ります。予算書の61ページから82ページまでです。山口君。

○7 番

きのうでしたか、町長の最初の挨拶で、手話通訳者が3月、今月の途中から配置されるということでした。これは2年前に予算計上されて、今度の新年度でも、もちろん今年度も計上されたままなんです。これ、もともと、最初の説明では週5日ぐらいっていうことでしたけど、臨時職員として大体予算計上された金額ぐらいの勤務形態になるということなのかどうか。

それと、基本的に窓口で5日間ということですから常駐ですよ。ただ、時間が午前中だけでしたか、ということなんですけれども、その辺、ただ、これまでだったら、例えば聴覚障がい者の方が事前に届け出て、窓口で町のほうが手話のボランティアの方を、手話通訳のボランティアの方を配置するというようなやり方されてたと思うんですけどもね。その辺、時間設定されてたら、その時間以外のときしか例えば行けないという場合があると思うんですね。その辺はどうするのか。

その2点についてどうでしょう。

○議 長

福祉課乾主幹。

○福祉課主幹（乾 宏美）

失礼します。手話通訳者の設置の件について御答弁させていただきます。

1点目の賃金の件ですけれども、福祉課といたしましては、週5日の終日の設置っていうことを目指しております。平成27年度におきましては、26年度以上に求人とか啓発関係の強化を行ってきたんでありますけれども、結果といたしまして設置に至らない状況が続いておりました。こういう状況を打開するために、今回のように週5日の午前中っていう措置をやむなくしたということで、あくまで私どもとしましては、週5日の終日っていう体制を目指しておりますので、年度途中でありましてそういう体制が整うようでありましたら、即時切りかえていきたいと思っておりますので、予算措置としましてはあくまで月額給で週5日の終日を勤務していただけるという予算を計上させていただいております。

2点目の体制の件ですけれども、午後いらっしゃりたいという方がありました場合につきましては、従来どおり、社会福祉協議会のほうにその旨を利用される方が申し出ていただきまして、そこから派遣をしていただくという形になります。

以上です。

○議 長

山口君。

○7 番

その件は結構です。

あと、75ページのこども園のどこなんですけども、先ほど全体の人件費、臨時職員の賃金の話、出ましたが、それはそれで、それとは別にですね、こども園のね、賃金の、要するに臨時職員の保育士さんがふえてるということがずっと言われてます。それでですね、時間外以外のね、ほとんど正規の、正規というか、職員の保育士さんと同じように働いている臨職の保育士さん、だから正規と臨職、その正規の保育士さんについて人数がどうなっているのか、はなさとゆめさと、それぞれね、どうなってるのか資料を出していただきたい。それと、その合計の賃金もできたら。賃金の合計、それから人件費の合計、それを資料で出していただけますでしょうか。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

こども園の関係の、正規っていうのは正職員の分ですよ。それと臨時職員の人数、それから賃金の状況について、資料のほうを整えたいと思います。

○議 長

窪君。

○10番

今の山口議員の関連なんですけれども、この予算書を見ましたら、大変ゆめさとは一般、70ページですね、ゆめさとの給与の分は大変ふえておりますけれども、これは違いますね、減っておりますね、27年度と比べまして減っておりますが、はなさとはふえている、いや、これも減っているのかな。すみません、ごめんなさい、ちょっとややこしい話ですね。ゆめさとも減り、はなさとも減り、正職員が減っているということですので、ちょっと人数、27年度と対比できるような人数の、賃金の部分と給与の部分との対比できるように、人数的なものは出せますでしょうか、対比できる。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

それも、資料でよろしいんですか。

○10番

はい。

○教育委員会総務課長

はい、わかりました。

○議 長

森田君。

○4 番

61ページの社協の運営費の補助金ですね。私も運営委員になってですね、よくわかるんです。これ、非常に苦しい会計のほうでやっておられるのわかるんです。これは、何かの基準でこの金額を算定されてるんですか。

○議 長

福祉課今田主幹。

○福祉課主幹（今田良弘）

社協の補助金でございます。3,000万。前年も3,000万、28年度も3,000万っていうことでございます。この基準については、基準はございません。この3,000万っていうのは、社協のほうでですね、一定、実績も踏まえて必要である補助金を3,000万ということで予算計上したところでございます。

○議 長

森田君。

○4 番

というのは、補助金、やっぱり基準とか何かそういうものに基づいてやられるべきだというふうに私は思うんですけど、それは答弁結構ですから、意見として申し上げておきます。

62ページの一番下段、下から2行目の社会福祉施設等整備費補助金1,000万。これ、具体的にどこに対して、場所的なことわかれば施設。これ、町単費だと思うんですけども、具体的なことがわかれば。何に基づいて補助金を出しておるのか、あわせて。

○議 長

福祉課今田主幹。

○福祉課主幹（今田良弘）

1,000万の補助金でございます。この補助金につきましては、平群町社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱、この要綱に基づいて出すものでございます。社会福祉法人が整備する施設整備に要する経費について補助をするということになってございます。これにつきましては、特養の整備に係る補助金でございます。この施設ですが、位置は椿井です。ゆめさとこども園の北側隣、隣接地ということで計画をされております。この計画が県の採択を受けて整備

するということに決まりました。

規模について若干御説明いたします。敷地は5,820、建物は地上4階建て、建築面積は879.24平米、延べ床で2,591平米、総事業費で10億強、竣工予定が29年の3月予定となっております。これらの事業に対して、補助要綱に基づいて1,000万を計上したということでございます。

○議長

森田君。

○4番

ありがとうございます。基準に基づいてされてるの、よく理解できましたので、それはもうそれで結構です。

それですすね、次はですすね、子ども医療費ですすね。この算定根拠だけ。65ページですすね、算定根拠だけお示しいただけませんでしょうか。

○議長

福祉課松本主幹。

○福祉課主幹（松本光弘）

ただいまの森田議員からの御質問にお答えしたいと思っております。子ども医療費の予算計上さしていただいている積算根拠ということでございますが、平成26年度の実績、また平成27年度の、平成27年4月から9月の支払い分、6カ月分の実績を加味いたしまして、それぞれ26年度の実績と27年度の半年分の実績を勘案した上で、その数値を算出したものでございます。

歳出におきましては、5,506万7,000円ですか。それに関して、県補助対象の分についての2分の1ということで、歳入についても見込んでおるということでございますので、よろしく願いいたします。

○議長

森田君。

○4番

62ページの、先ほど窪議員からも質問あったんですけども、太陽光発電の工事費ですすね。これは建物の補修、例えば屋根であればですすね、傷んでるところを、太陽光発電ですから20年も30年ももたさなあかんわけですから、その辺のことを加味されてこういう予算を計上されてるのかだけ確認させてください。

○議長

福祉課今田主幹。

○福祉課主幹（今田良弘）

太陽光発電の整備工事につきましては、保証ですが、詳しくは今ちょっと手

元に資料はございません。設計段階でいろいろ協議はしてるんですが、まだちょっと設計が上がってきてない段階です。その辺もですね、一定、補助金を使って整備するということですので、これ、奈良県中、みんな同じメニューで整備をされています。そういったところで、当然奈良県の補助金に合った施設整備ということで対応していきたいというふうに考えております。当然その設計に当たって、太陽光パネルを屋根に設置するわけですから、構造的に耐え得るかとか、そういったいろんな設計段階での調査もしていただいておりますので、その辺もあわせて支障のないように工事をしていきたいというふうに考えております。

○議長

森田君。

○4番

これからというのはわかるんですが、予算計上されてますから、その積算根拠だけ、きょうじゃなくても結構ですから、お示ししてください。

○議長

植田君。

○6番

68ページの町外保育委託料。補正予算でも増額をされてたんですけども、ここ、資料出たかもしれへんねんけど、3年ぐらいの町外保育になっている子どもたちの人数等、ちょっと推移を見たいというのが一つ。

それと、28年度からのそれぞれのこども園の年代別っていうんですかね、年齢別の、決まってると思いますので、定員に対してどういう状況になっているのかっていうの、人数がわかるのを資料として出していただきたいというふうに思います。

それと、もう一つ、同じ68ページの子育て支援センター管理費なんですが、説明の中で、一般職給で28年度は4名ということでおっしゃってたんですが、これまで2名の配置だったと思うんですね。だから、これ、880万ほど前年度より一般職給のところは金額ふえてるんですけども、それが4名になったということ、それから、その次のページの賃金のところで、相談員、これは26年の補正か何かで出て、繰越明許やから、予算には26年も、27年か、27年も28年も出てなかったのかなと思うんですが、相談員が多分1名分だと思うんですね。新たに時間給のパート賃金も上がってきてるということで、この子育て支援センターが、28年度、何か事業としていろいろ展開していくのかなど、人数がかなり、まあ言うたら充足をされてるみたいに見えるんですけども、そこら辺、どういう、子育て支援センターをね、運営していこうという

ふうにおもわれてるのか、そこら辺がわかるものがあれば、今答えてもらってもいいですが、いろいろあるのであれば資料として出してもらいたいと思います。

○議長

福祉課松本主幹。

○福祉課主幹（松本光弘）

ただいま植田議員から御質問ありました件についてお答えをさせていただきたいと思います。町外保育の件についてですが、資料としてお出しさせていただいたらよろしいですか。今、数字も……。

○6番

今、だから予算の分について、もし、これ何人分を見込んでるのか、それだけ聞いときます。

○福祉課主幹（松本光弘）

はい。平成28年度予算におきまして、町外保育を見込んでおりますのが12名見込んでおります。それは実人数でございまして、年間に年度途中で入園されたりとか、年度途中、退園とかございまして、今現在申し上げてる数字は実人数ということで、12名とお考えいただきたいと思います。

先日、補正予算の中でも御質問いただきまして、利用状況など御説明させていただいたところでございます。人数的に少し少ないのではないかということで思われるかと思うんですが、平成28年度におきまして、今、既に入園されておられる方、13名いらっしゃるんですが、そのうち、卒園される園児が4名、またこども園に28年度に転園される方が3名いらっしゃいますので、6名が町外保育として残られると。新規の入園を6名見込んでおりますので、そういった関係で12名ということで御理解をお願いしたいと思います。

それと、続いて支援センターの事業展開ということで御質問いただいたんですけれども、支援センターのほうにおきまして、不登校児の学習支援ということで実施をしております。先般、12月議会において、少子化対策の推進交付金ということで、「恋まち・育まち・へぐりっち」ということで、全額国庫交付金で事業展開させていただいてるんですけども、その中で相談員の配置ということで、既に国庫を利用しながら相談員の配置をしてるんですけども、その部分の人件費についても来年度、予算計上させていただいてるということで、引き続き不登校児の学習支援、行っていくということでの計上ということになってます。

以上です。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

こども園の年齢別、定員と入園園児の状況ですけども、これ、今現在、27年度の今現在の状況と、28年度の入園受け付けしてもう終了してますけども、その現状でよろしいですか。

○6番

はい。

○議長

ほか、ございませんか。植田君。

○6番

今ね、ごめんなさい、福祉課主幹のほうから、松本主幹のほうから不登校児の学習支援ということで、今どれぐらい子どもたち、そこへ来られてんのかな。

○議長

福祉課松本主幹。

○福祉課主幹（松本光弘）

9名ということで聞いてます。

○議長

森田君。

○4番

67ページの太陽光発電ですね、プリズム。それと、はなさとの太陽光発電ですね。これも積算根拠だけお示ししていただけませんか。というのはですね、先ほどのやつに比べて600万ぐらい、高いやつと安いやつの差がありますので、何かそういうことが積算根拠に、状況が違う、建物によって違うと思いますので、あわせて御提出いただけませんか。

○議長

健康保険課長。

○健康保険課長

プリズムの太陽光発電の件につきまして、資料として提出させていただきます。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

はなさとの太陽光発電の3,100万ですけども、これは今、27年度予算で設計して、まだできてないんですけども、3,100万っていうのはちょっと細かい根拠まではなかったんじゃないかなっていうふうに思います。国のという話の中でっていうことで、再度調査しますけども、できるだけある資料

につきましては御提出さしてもらいたいと思います。

○議長

山口君。

○7番

太陽光発電については、窪議員のほうから6基全部の資料請求ありましたよね。今、森田議員から1つずつあるんやけど、さっき今田主幹が答弁した、要するに県がくれた、決めた金額でしてるわけでしょう。要するにまだ設計費、今年度の補正で上げてまだ出てないって、2人も、2つのところも言ってるわけだから、全部出てないわけでしょう、それだったら。でも、新年度で予算上げなあかんから出してるんではないかと。要するに積算根拠。

「ないの」の声あり

○7番

ざっとこんなものでしょうという話でしょう、要するに。いや、ええとかあかんとかじゃなくてよ。要するにそういうことなのかどうか、ちょっと一括して言ってもらわないと。いや、だから、僕らにしたらもう補正予算が9月と12月で通って、要するに設計、ね、測量設計費が出てるわけやから、当然それができて予算計上されてると、こう思って聞いているわけやからね。そこはちょっと行き違いあんのちゃうかなというふうに思うんで。特に今の西本課長の答弁聞いてたら、まだ出てないということだから、ちょっとどうなんですか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

ちょっと私の認識不足かもわからないんですけども、今決まってるっていうのは、仕様として挙げてるのは10キロワットの発電量で、はなさとの場合でしたら街路灯、それから園内のLEDの一部取りかえっていうふうなことで、国や県のほうからいただいた数字が3,100万っていうことでしたんで、そういうちょっと認識でしたので、改めてさらに詳細の3,100万の根拠がありましたら御提示さしてもらいたいと思います。

○議長

副町長。

○副町長

ただいまの山口議員の質問につきまして、ちょっと内部確認をいたしますので、暫時休憩、お願いできますでしょうか。

○議 長

正確な答弁を求めますので、3時20分まで休憩をいたします。

(ブー)

休 憩 (午後 3時00分)

再 開 (午後 3時20分)

○議 長

それでは休憩前に引き続き再開をいたします。

(ブー)

○議 長

副町長。

○副町長

貴重なお時間いただきまして、ありがとうございます。先ほど山口議員のほうから御質問ございました、太陽光パネルの件につきまして御答弁申し上げます。

今年度、県の補助事業として実施いたしました太陽光パネル設置につきましては5件ございます。2次配分といたしまして、まずくまがしステーション、そしてプリズムへぐり、そして野菊の里、この3つにつきましては設計業務が終了しておりますので、それに基づいた工事費用として新年度予算には計上させていただきます。

そして、3次配分といたしまして、はなさとこども園、そしてふれあい交流センターにつきましては、設計業務を現在行っております。そして、予算計上させていただく額につきましては、県のほうに補助申請させていただいてる補助ベースでの金額として新年度予算には計上させていただいているところでございます。

以上です。

○議 長

福祉課今田主幹。

○福祉課主幹(今田良弘)

ふれあい交流センターの整備についてです。62ページの工事請負費で2,731万9,000円が整備工事として予算計上しております。若干、説明不足がございましたので、させていただきます。

この整備工事の中には、ふれあい交流センターの再生エネルギー設置工事、太陽光パネルですけども、この金額は2,408万5,000円でございます。

それ以外にです。老人福祉センターの屋根改修工事が300万、それから老人福祉センターのカーペットの改修工事が23万4,000円、この全てを含んで2,731万9,000円ということでございます。よろしくお願いいたします。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

はなさとこども園の3,100万ですけども、これにつきましては、先ほど申し上げましたように、今、27年度予算で測量設計をしてもらっているところです。この3,100万につきましては、先ほど副町長からありましたように、グリーンニューディールの3次分ということで、先ほども言いましたけども、太陽光発電で10キロ、蓄電池で15キロ、街灯等でLEDの関係で3基ということで、その辺の3,100万の積算につきましては、2次分を参考にしながら積算したものですんで、それでよかったですら資料として提出させていただきたいというふうに思います。

○議長

ほかにございませんか。植田君。

○6番

72ページの賃金のところなんですけども、用務員パート賃金なんですけど、27年度の予算ははなさとゆめさとほぼ同額だったんですが、28年度はゆめさとが前年度より63万減って83万と。はなさとが153万ということで、普通に考えたら、ほかのところは大体全部、ゆめさとのほうが子どもの人数も多いですし、施設の規模からいっても大きいはずなのに、用務員パート賃金についてはほぼ倍ぐらい違うんですね、はなさととゆめさとの金額が。これ、なぜこうなってるのか。

その下の給食のパート賃金もそうなんですけど、はなさとよりゆめさとのほうが多いと。ゆめさととは前年度から100万ほど減ってると。子どもの数はほぼ倍ほど違いますのでね。片や250、片や130ぐらいやったかな、二、三十。それが、給食パート賃金もはなさととのほうが150万ほど多いというふうになってるんですね。これ、何でこういうことになるのか御説明いただけますか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

こども園、はなさととゆめさとの両園の用務員パート賃金、それから給食パート賃金の予算上の配分額ですけども、これにつきましては、今なぜこうなっ

てるかっていうことにつきましては、現状の今運営しているパート対応のそのままの数字を当てはめたというふうなことが原因です。ゆめさとのほうが、例えば用務員賃金が83万で、はなさとが153万ということをおっしゃってるんですけども、これについては今言いましたように、現状がはなさとのほうはほぼ1日フルというふうな形で来てもらってるんですけども、ゆめさとのほうは4時間パートっていう状況で今賄えてるというふうな状況ですんで、そういう状況にしております。

給食パート賃金につきましては、正職員との絡みで、人数がはなさとのほうが3名で、ゆめさとのほうが2名というふうな、そういうカウントになっております。

○議 長

植田君。

○6 番

ちょっとそれ、わかるような資料を出してもらえますかね。こういう状況で違ってきてるというのをね。それ、お願いしておきたいと思います。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

先ほど資料請求ありましたので、それとあわせて状況についての資料として提出させていただきます。

○議 長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、民生費に対する質疑を終わります。

続きまして、衛生費に対する質疑に入ります。82ページから91ページまでです。植田君。

○6 番

資料、お願いしたいんですが、83ページの予防費の検査検診委託料。これ、さまざまな予防接種の関係だと思うんですが、27年度の予算に対する実績人数とかも含めると、28年度のこの予算でどういう配分をされてるのかと、予定されてるのかっていうのを一覧で出していきたいというのが一つ。

それと、84ページの事業・業務委託料。乳児健診85万3,000円、そ

ういう説明だったと思うんですが、これもここ3年間ぐらいの予算に対する実績ですね。対象者に対する実際受診がどれぐらいあったのかということが、受診されたのかということが、それぞれの各乳児健診の年齢別に出していただきたいというふうに、ちょっと傾向見たいので、すみませんがよろしくお願いたします。

もう一つ、85ページの、これは検査検診委託料。がん検診ですが、これについても同様、27年度の予算と決算見込みの中でどういう状況になっているのか、28年度はどういう、各検診、がん検診の対象者を見てるのかということがわかる資料をお願いいたします。

○議長

健康保険課長。

○健康保険課長

ただいま植田議員さんからの資料請求でございますが、昨年度も同じような形でお出しさしていただいたと思うんですけども、そういう形でもよろしいでしょうか。予防費の検査検診委託料の内訳、そしてがん検診の件数とかですね、金額とか、それから乳児健診の内訳につきまして、委員会のほうに提出させていただきます。よろしくお願いたします。

○議長

山口君。

○7番

87ページの斎場運営費で、資料ですけども、斎場の使用実績と、新年度のもちろん見込みですけど、積算数量とか金額ですね。これをちょっと資料で出してください。

それから、89ページの不燃物処理委託料。今年度からやり方は大分変わってますけれども、26年度、27年度は途中になりますけれども、ある程度、1月の終わりぐらいまでは数字出てると思うんでね、その実績、それから新年度予算の積算、これも資料で。通常出して、いつも出してもらってるのと同じで結構です。

それだけですかね、はい。

○議長

住民生活課長。

○住民生活課長

ただいま山口議員から請求のありました斎場の使用実績と新年度の見込み、昨年も出させていただいたような形で結構ですね。

○7番

はい。

○住民生活課長

それから不燃物の処理委託料、27年度の現在の状況と、それから28年度の予算の内訳というんですか、そういう形で資料として出させていただきます。

○議長

山口君。

○7番

90ページのし尿処理費。生駒市との提携、初日もちょっと話、出てたのであれですけども、1万5,100円という単価に運搬・処理、なるということですけど、その内訳とかですね、それから見込み量が六千幾らっておっしゃってました。その要するに、この間、多いときで9,000トン近くあった、8,000トンかな、ぐらいあったと思うんですが、大分公共下水道の普及で減ってきてるんですけども、その根拠ですね。し尿処理の今後の見込みですね、推計。これも去年かおとし出してもらってるやつですけども、それもできたら出していただければと思います。

○議長

住民生活課長。

○住民生活課長

今、山口議員から資料請求がありました、し尿処理の今後の見込み推計ですね。それから1万5,100円の内訳ですね。それを資料としてお出しさせていただきます。

○議長

森田君。

○4番

91ページですね、廃棄物減量推進事業費のところ。委託料のところ、これ、ごみ袋をつくるというふうに、450万というふうに聞いていますが、これの販売状況と在庫と、今回、450万はどのような種類を何枚つくる、積算根拠をお示しいただけませんかでしょうか。

○議長

住民生活課長。

○住民生活課長

指定ごみ袋に関する内訳ということで、在庫の状況、それから新年度予算の予算計上の内訳ということで、資料としてお出しさせていただきます。

○議長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、衛生費に対する質疑を終わります。

続いて、労働費に対する質疑に入ります。92ページです。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、労働費に対する質疑を終わります。

続いて、農林水産業費に対する質疑に入ります。ございませんか。森田君。

○4 番

94ページの土地借上料が減ってますね。これ、道の駅じゃないんですかね、別のところですかね。これ、この費用はですね。前年度200万ほど、204万上がってて、今回が192万2,000円ですけども、これ、何か理由があるんでしょうか。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

土地借上料の件です。土地借上料につきましては、道の駅の、平成27年度においては第2、第3駐車場に関するものとファーマーズでございました。今回、平成28年度においては、今現在、第3駐車場を使用しておりますが、この3月をもって所有者に返すということで、新たな駐車場ということで、現在の第1駐車場、県の駐車場の北側に隣接する、27年度においては収穫体験の農場ということで活用していた農地を駐車場に切りかえるということで、若干その分、面積等も減っておりますので、積算の結果、こういう借上料になったということでございます。

○議 長

森田君。

○4 番

その北側の土地も町が借りて、道の駅が使うという理解でいいんですか。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

そういうことでございます。

○議 長

山口君。

○7 番

ページはないんで、ちょっとどこかわかんないんですけど、主要事業のところに特産品開発事業ってあるんですよ。これは具体的にどの項目で予算書に上がってるのかということと、具体的な内容。一体その特産品開発事業、どういふことをするのか、その説明をお願いいたします。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

主要事業に掲げております特産品開発事業につきましては、これまでもともと遊休農地解消モデル事業ということで継承してきた事業で、今年度におきましては、昨年3月議会において、平群ブランド推進事業ということで地方創生の先行事業ということで補正をいただいて、繰り越し事業として実施しております。

名目というか事業については、これまでの特産品開発とは変わらないということで、あと科目なんですけれども、臨時職員1名分の賃金並びに消耗品、それに伴う燃料費、修繕料、委託料、土地借上料、機械器具使用料、原材料費と多岐にわたって計上しております。

「どこのことや」の声あり

「94ページ」の声あり

○観光産業課長

農林業振興費の中ででございます。すみません。

○議 長

山口君。

○7 番

だから、その事業全体の予算は幾らというのも言ってもらえますか。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

歳出の合計といたしましては、635万5,000円となっております。

すみません。599万2,000円ですけれども、すみません。主要事業に書かれております。

○議 長
窪君。

○10番
現在、平群ブランドの認定された品目と、それから今後、予定がわかるような資料がありましたら出していただきたいんですが。

○議 長
観光産業課長。

○観光産業課長
品目の資料なんですけれども、同一品目において何人かございますが、そういった品目と認定者が何人かというような資料でよろしいですか。

○10番
はい。

○観光産業課長
そしたらお出しささせていただきます。

○議 長
よろしいですか。

「なし」の声あり

○議 長
それでは、農林水産業費に対する質疑を終わります。
続きまして、商工費に対する質疑に入ります。97ページから98ページです。
ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長
ないようでしたら、商工費に対する質疑を終わります。
続きまして、土木費に対する質疑に入ります。98ページから105ページまでです。土木費。高幣君。

○9 番
101ページの工事請負費、1億7,170万円ですか。これのちょっと明

細があれば、次で結構ですからお願いいたします。

○議長

都市建設課長。

○都市建設課長

道路新設改良費の工事請負費の明細を提出させていただきます。

○議長

山口君。

○7番

今の件なんですけどね、いつももらってるあの明細はね、ちょっと粗くた過ぎるんです。もっと細かく出していただければというふうに思いますんで、それはまずお願いしておきます。

それから、同じ101ページの用地購入費、ありますね。1,510万5,000円。これも多分ね、道路の拡幅とかだと思うんですが、それは資料を出してください。

それから、103ページの駅周の負担金補助及び交付金6億7,300万円。これも資料、積算内訳。これもできたらちょっと詳しく目に出していただければというふうに思いますので。

さらにですね、104ページの住宅管理費の維持補修工事1,602万5,000円。これも積算内訳、資料としてお出しいただけますでしょうか。

○議長

都市建設課長。

○都市建設課長

まず、道路新設改良費の工事請負費の資料ということで、先ほど高幣議員のほうからも請求ありましたけども、若干流動的な部分もございますので、できる範囲で詳しくということで努力をさせていただきます。

それと、用地購入費につきましても、内訳を提出をさせていただきます。

土地区画整理事業の負担金の内訳を提出させていただきます。

それと、住宅管理費の工事請負費、これも明細を提出させていただきます。

○議長

森田君。

○4番

今、工事のほうの話だったんです。その前段階の前ページの100ページの委託料のところですね。測量設計委託料と調査委託料も、ブレイクダウンしたやつをお出しいただけませんかでしょうか。

○議長

都市建設課長。

○都市建設課長

委託料ですけども、測量設計委託料と、あと調査委託料の明細ということでよろしいでしょうか。提出させていただきます。

○議長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、土木費に対する質疑を終わります。

これより、消防費に対する質疑に入ります。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ございませんか。ないようでしたら、消防費に対する質疑を終わります。

これより、教育費に対する質疑に入ります。107ページから134ページまでです。植田君。

○6番

28年度の予算で、大規模改造事業で、中学校のほうでトイレの改修ということで、一定、予算が700万ほど組まれています。これの中身、これからだろうとは思いますが、それがわかる。

「何ページ」の声あり

○6番

123です。ものを、1個だけやから今お聞きしといてもいいんですが、資料として出してもらったら。

それと、この間、昨年3月には、町内全ての小中学校でトイレの改修とエアコンの設置を求める請願が、議会でも賛成多数で通っています。そういう中で、今後のね、計画的に、一遍にはできないのは当然わかってますから、計画的にどのように進めていくのかっていうことをやはり示していくということは大事なことだというふうに、この間も議会でも取り上げてきたんですけれども、来年度、その一つとして中学校の分が一步として出たのであればそうやし、じ

やあ、今後どのように考えてるんか、ある程度その計画がもうできているんであれば示してほしいなと思うんですけども、その点、どうでしょうか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

中学校トイレの改修内容につきましては、資料でよろしいですか。

○6番

はい。

○教育委員会総務課長

そしたら、資料で提出させていただきます。

それから、今後のトイレとか、エアコン含めてですけども、施設の老朽化対策ってということで、計画ができてるんやったらということなんですけども、以前より何人かの方からもそういう話もあって、計画を立てる必要があるというふうな認識で、もちろん計画案みたいなものは持っているんですけども、また財政当局とも含めて協議はしてるんですけども、ちょっとまだお示しできるようなきちっとした計画、きちっとその財源も含めて、担保のとれたものとしてはできてないんで、その辺は御了解願いたいというふうに思います。

今回の28年度のトイレ改修等々については、もうその中の一環として財政当局等、含めて協議しながら、28年度で実施するというふうにさせていただいた内容です。

○議長

植田君。

○6番

ある程度、まだ詰めてるところだということなんですけども、じゃあいつごろ基本的には、そら財政の問題あるかもしれないけど、やっぱりつくらないと動いていけないという部分も、私、あると思いますので、いつごろをめどにそれを示していただけるのかなというふうに思うんですけども、その点、どうですか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

いつごろということですけども、先ほども申し上げましたように、非常に、例えば中学校、もう老朽化、全体的になってますんで、大規模な状況がいずれ近い将来出てくるかなというふうには思います。そういった中で、今現在の町の財政状況は、この議会でもいろいろ議論ありますように、非常に厳しい状況の中で文化センターとか、その他いろいろな財政需要も計画的に組んでいかな

あかんで、そこらについては教育委員会としては早く改修をしていきたいというふうな、そんな気持ちは持ってますけども、全体の中で、あるパイの中で執行していく必要がありますんで、その辺については財政当局と協議しながらということで御理解願いたいというふうに思います。

○議 長

植田君。

○6 番

そら金のことあるかもしれへんけどね。学校の、町長も認識されてると思いますけども、学校施設っていうのは、ほんまこれから平群の将来を担う子どもたちがね、やっぱり安心してそこで学べる環境をどうつくっていくのかということで、さっきちょっと山口議員が言いはった、中心的に予算を配分していこうという中身の中にも子育ての部分あったと思うんですけど、子どもたちの環境整備という部分ではね。それが小学校のトイレとかに関しては20年、30年遅れたような状況があるんですね、一般の家庭と比べればですよ。だからそういう中で子どもたちが安心して、まあいわば学校で授業を受けられるという状況をどうつくるのか。

私もこの間、教育委員会もそういう認識をされてると思うんですが、エアコンも必要ですが、まずはトイレということが、保護者の方々からもよく聞きますし、私も現状を見ればそうなんだなというふうに、非常にそれはもう思います。今どきなかなか一般家庭で和式でっていうのは少ないと思います。もうほとんどが洋式の中で、生まれたときから子どもたちはそういう中で育ってきますから、やっぱりそういうトイレ環境っていうのは人間の生理現象を、一定、処理する空間ですので、それがきちっと整備をされてないっていうことが子どもたちの学習にも与える影響っていうのが大きいということは、これはもう全国的な、まあいわばトイレをきちっと改修されたところから聞こえてくる声だというふうに思っています。だから、国もトイレ単体での補助金もつけてきてるという状況があるわけですから、町長、そこら辺はどのように認識をしておられるのか、町長のお考えをお聞きしておきたいと思います。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

今おっしゃったことについては、もちろん安心して学べる子どもたちの学校施設環境っていうのは、それは目指していく必要があると思います。その方向で限られた財源の中で進めているところで、トイレの話がありましたけども、トイレにつきましても、この間、南小学校、それから中学校の体育館、それか

ら来年度は北小学校、中学校のトイレってということで、抜本的なことはできていないんですけども、必要最小限のものについては計画的に進めておるようなところでございます。そこらについてはぜひ御理解願いたいというふうに思います。

今後につきましては、先ほども申し上げましたように、限られた財源の中ではありますけども、優先の高い順位から、トイレを中心に改良、改善、改修を進めていきたいというふうに、学校の現場のほうの声もよく聞きながら進めてまいりたいというふうに思っています。

○議 長

植田君。

○6 番

それはぜひお願いしたいし、いろんな補助メニュー、国からのね、補助メニューなんかも十分使っていただきたいというふうに思います。

先ほどちょっと中学校のトイレの改修の部分で、詳細を出してほしいと言いましたが、説明の中で北小のほうも一部改修工事が入ることだった、それもあわせて一緒に出していただけますか。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

はい。北小のほうはもう、ちょっと部分的な、特別支援のお子さんを対象にした、ほんま緊急避難的な工事ですけども、それも含めて、じゃあ資料として提出させていただきます。

○議 長

森田君。

○4 番

植田議員からもあったんですけども、南小学校って教育長も御存じのように、あれ、建ててから40年、ほぼ40年超えてきてるわけですね。あれ、外壁の塗装は1回もやってないんじゃないかなと思うんですよね。

「30年」の声あり

○4 番

30年、40年、30年か。40年、40年。

それは別として、ちょっとあの辺もですね、外から見てもですね、プロムナードがですね、桜で非常にきれい。行ったところ、着くところは壁がすす汚れ

てますので、これはお願い、限られた財源でやられると思いますんですけども、平群小学校は非常によくなったけども、南も北も劣悪な状況でございますので、特段の御配慮をお願い申し上げます。

それと、119ページと123ページの教育費扶助の要保護、準要保護生徒就学奨励費、その下の給食費補助のブレイクダウンしたやつですね。それはお出しいただけますでしょうか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

119ページの扶助費の内訳の内容を、資料ということによろしいですか。

○4番

はい。

○教育委員会総務課長

はい、わかりました。

○議長

森田君。

○4番

131ページの工事請負費ですね。ウォーターパークと中央公園のことです。これ、できたら今わかれば結構なんですけど、それとですね、私、中央公園によく行くんですね。あそこのですね、サインがめちゃめちゃ見えません、トイレが。トイレの男女もわからない。これはですね、そんなに費用がかからないので、課長、お忙しいと思うので、御担当の方でも結構ですが、指定管理されてますので、その方らでも結構なんです。傷んできてますよ、本当に。路面も含めてですね。今やればそんなにお金がかからないものが、数年たつともっとお金要ると思いますので、私が見た限りですね、とりあえずサインぐらいは知れた費用ですので、ぜひともやっていただきたい。今のウォーターパークと中央公園の一千百何万のもしか内訳がわかれば、もうきょう、今わかれば今で結構なんですけど、お教え、今でなければ資料でも結構です。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

まず、保健体育総務費の維持補修工事の1,116万円の内訳ですけども、大きなものとしましては、非常に老朽化で傷んでおります中央公園内のテニスコートの張りかえ、それからウォーターパークの防火シートが、非常にこれも老朽化で補修が必要ということで上げてます。それと、総合スポーツセンター

の体育館のシャワー設備が壊れておって使えない状況ですんで、これの補修ということで、合わせて1, 116万円ということです。

それと、中央公園内のサインにつきましては、御意見として承っておきたいと思えます。

○議長

高幣君。

○9番

132ページ、これは保健体育費ですけれども、総合型スポーツクラブ自立支援補助金というのが456万円あるんですけれども、その補助金というのはどういうふうな内容の補助金を出されるのか、そのスポーツクラブに対して。お教え願いたいと思えます。資料で結構です。月曜日ですか、結構ですから。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

これはt o t o助成を充ててるんですけども、資料ということですので、もう少し詳細資料にしてお示しさしてもらいます。

○議長

窪君。

○10番

123ページの大規模改造事業なんですけれども、平群町、各学校施設の耐震化が平成27年度で100%完了をしました。皆さん、計画的に本町も取り組んでいただいたおかげなんですけど、ただ、あと唯一、南小学校の体育館の非構造部材ですね、これがまだ終わってないんです。今まで何度も議会で質問させていただいてまいりました。今回、予算に対して大変厳しい予算の中で計上されなかったんだなということは理解できるんですけど、今後ですね、東日本大震災の一つの教訓が非構造部材ですね。体育館の屋根のこれが落ちてきて、けがをしたと。これですね、この点につきましては今年度上がってませんけれども、今後どのようにお考えでしょうか。お尋ねしたいと思えます。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

非構造部材の話につきましては、以前より窪議員のほうからも御指摘をいただいて、認識をしておるところです。南小学校の体育館についてもそうですし、中学校の武道場も少し心配しているところあるんですけども、今後、先ほど申し上げてますように、財政状況見ながら、国の補助メニューを最大限活用でき

る中で計画をしていきたいなというふうに思ってます。

○議長

窪君。

○10番

ぜひとも、いつどのような事態が起こるかわかりませんので、お金がなかったからということでは人が出るということのないように、計画、耐震化もしっかりと計画を立てていただいた中で、毎年1校ずつ実現して100%完了したということですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長

森田君。

○4番

西小学校の跡地ですね。それがですね、一向に示されず、この予算書に入っておればどこに入っているかというのをお示し、御説明いただきたいんですけども、それがどんなスパンで今動いているのか。我々議員のほうにもですね、あそこをクローズして何に使うんだという話も聞きますしですね、大体のスケジュールがわかれば、今、予算に上がっておればどこに上がっているのか、お示しただけませんかでしょうか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

森田議員の御質問でございます。西小学校の跡地利用についての予算措置ということでございますが、平成28年度の予算の中におきましては、措置はいたしてないところでございます。

関連でございますので、今の状況でございますが、過般、議会のほうでも全員協議会で御説明申し上げましたが、まだそれ以降、ちょっと具体的な利活用の計画等については、町内のさまざまな状況も含めてございまして、まだ具体的な案をお示しできるには至ってないというところでございます。

○議長

植田君。

○6番

今の関連なんですけども、町内の施設ですよ。施設というか、障がい者施設のほうからも活用さしてもらいたいと、事業の展開の関係でということ、そこに限らないんですけども、そういう積極的にどういう活用をするのかということ、一応案も示されたわけですよ、議会のほうにも。そこでいろいろな議会からも意見が出て、またそれを持ち帰ってどうするのかということのを待

ってたんですが、今言われたように、それ以降、ナシのつぶてで何もないという状況やし、そういう法人のほうからも将来的に、今もうパンク状態やから、早くそういう、使わせてもらえるんだったらという声なんかもあるようにお聞きをしてるんでね。そういう意味では、どうするんやということがやっぱいろんなところから聞かれますので、そこはもうやりっぱなしでほっとくんではなくて、やっぱりきちっとちゃんと話を詰めていくといおうか、どうするのかということをやっとやっぱちゃんと対応していくべきやと思うんですが、予算には上がってへんけど、それはちゃんと来年度というか、やってもらえるんでしょうか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

植田議員の御質問でございます。西小学校の利活用の問題につきましては、当課といたしましても非常に喫緊の課題ということで、いろいろと苦慮しながら考えているところでございます。今申されたように、利用団体のほうから、一定、利用したいというふうな申し出があるのも承知しておりますし、昨年未やったか、ちょっと具体的に日にちまでは失念いたしましたが、一度お話し合いも含めてさせていただいた経過もでございます。その折に、今どういうことが問題になってるんだということも含めて、今の状況をあわせて御説明申し上げたところでございます。当然、このままほっておくというふうな案件ではございませんので、ちょっとさまざまな問題含めてございますので、一定、整理をしながら解決し、整理をしながら、利活用については今後図っていきたいというふうに考えております。

○議長

ほかございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、教育費に対する質疑を終わります。

続いて、災害復旧費に対する質疑に入ります。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、災害復旧費に対する質疑を終わります。

続いて、公債費に対する質疑に入ります。山口君。

○ 7 番

これについても、償還見通しの資料。普通会計の項目別、それから下水道、別になってますから、下水道の償還見通し。

それとですね、もう一つ、要するに起債残高、経年のね、流れをちょっと知りたいので、平成18年ぐらいからずっと、年度末で結構ですから起債残高、出していただけますか。最近のは、これ、載ってたか。載ってましたか、資料。残高載ってた。すみません、載ってたらもう結構ですけど、載ってなかったら出してください。よろしく。

○ 議 長

政策推進課長。

○ 政策推進課長

山口議員の御質問でございます。資料請求のございました公債費の見通しでございますが、まず普通会計ベースで、今おっしゃられた普通会計と下水道の事業の償還見通しについてはお出しをさせていただきます。

あわせて、予算資料のほうにおつけをさせていただいておりますのは公債費の推移ということになっていきますので、起債の推移ございませんので、ちょっとどのぐらいまでさかのぼれるかということも含めて、できる範囲でお出しをさせていただきますと思います。

○ 議 長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○ 議 長

ないようでしたら、公債費に対する質疑を終わります。

続いて、予備費に対する質疑に入ります。ございませんか。

「なし」の声あり

○ 議 長

ないようでしたら、予備費に対する質疑を終わります。

4時15分まで休憩いたします。

(ブー)

休 憩 (午後 4 時 0 5 分)

再 開 (午後 4 時 1 5 分)

○議 長

それでは、休憩前に引き続き再開をいたします。

(ブー)

○議 長

時間延長、午後 6 時までといたします。

それでは、これより一般会計歳入全般にわたって質疑に入ります。13 ページから 42 ページまで。歳入全般です。山口君。

○7 番

14 ページの軽自動車税。軽自動車の税率が上がるということで、本来なら 27 年度、今年度からの予定してた、原付については 1 年ずれて新年度からと。ただ、先に行われている原付以外についてもですね、実際の税収がふえるのは新年度からということなので予算計上されてると思うんですが、これのですね、増税の、増税というかふえる、増税になった資料というんですか、それをできたら、予算計上するに当たって積算してると思うんで、そのふえた分のところのね、資料をできたら出していただければというふうに思うんですが、どうでしょうか。

○議 長

税務課長。

○税務課長

軽自動車税の税率改正の増額の分になった分についての資料を提出させていただきます。

○議 長

植田君。

○6 番

負担金のところになるのかな、保育料の関係なんですけれども、この 4 月からね、多子世帯に対する年収 360 万以内であれば、第 1 子の年齢に関係なく第 2 子が半額、第 3 子が無料になると、保育料が。28 年のこの予算に反映されてるのかどうなのかわからないんですけど、平群町の中でその対象者がどれぐらいいらっしゃるのか。

それと、ひとり親世帯についても、年収の 260 万円まで全て無料やったのが年収 360 万円までに拡大して、第 1 子の保育料が現行の半額、第 2 子が保

育料が無償化となるというふうに言われてるんですが、平群町でそれに該当する児童がどれぐらいいてはるのかどうか、もしつかんではったらその人数を示していただきたいと思います。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

保育料の多子減免の対象児童、園児の人数等々についての資料については、改めてつくって提出させていただきます。

○議 長

ございませんか。山田君。

○8 番

1点だけ。35ページのね、財産収入ね、5,700万。前年度と全く一緒なんですけど、前年度、資料もらってるんですけど、全く同じという考えでいいんですか。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

売り払いの物件につきましては昨年と同様の物件で、先ほど予算説明の中でも申し上げました吉新3丁目の物件で、約400坪強の町有地について売却をするという予定でございます。金額につきましても、昨年度の鑑定額といたしますか、売却予定価格をそのまま参酌をいたしまして、予算措置をしておるところでございます。

○議 長

よろしいですか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、一般会計歳入全般に対する質疑を終わります。

以上、議案第17号に対する質疑を終結いたします。

これより、各特別会計予算に対する質疑に入ります。

まず、議案第18号 平成28年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算に対する質疑に入ります。

「なし」の声あり

○議 長

ございませんか。

ないようでしたら、議案第18号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第19号 平成28年度平群町国民健康保険特別会計予算に対する質疑に入ります。馬本君。

○12番

今度、基金、6,000万取り崩して、実質ここに未確定財源が1億数千万かな、入ってるわけやけど、実質、僕、思うねけど、基金でも数百万残るように基金に対してなってるけど、この27年度決算、どうなるかちょっとわからへんねけど、しかし、これ、未確定財源、最近初めてのことであってね、そこから辺、どういう見通ししてんの。というのは、平成30年度に国民健康保険が広域化になるわけやろ。ね、県と平群町、保険者がな。そういう関係で、見通し、大体的見通し、27年度決算の見通し並びに28年度の見通し、わかったら言うていただけますか。

○議 長

健康保険課長。

○健康保険課長

ただいまの馬本議員様の御質問でございますが、28年度当初で未確定財源1億3,600万という大きな数字を組まさせていただきます。これにつきましては、27年度の決算見込みでございますが、せんだっての国保運営協議会で決算見込みを出させていただきます。その数字がですね、その当時で9,600万円の赤字になるというふうな見込みを立てさせていただきます。ただ、この時点ではですね、例年なんです、財政調整交付金が未確定でございます。それで通常、予算組ませいただくときには、国の指導によりましてですね、財政調整交付金は9%というふうに組まさせていただきます。それで、今回の決算見込みにつきましてもですね、26年度の決算ベースで入れさせていただきます。ただ、せんだって財政調整交付金の県でのヒアリングがございました。それでは、この数字よりも幾らか上増しになるという見込みでは思っております。それと、4月になってからでございますが、本係数といいましてですね、全国同じ率に直した数字でまいってくるんですけども、その数字を待たないとですね、ほんまの歳入が見込めないということで、

今はちょっと未確定な数字でございます。

それで、財政調整基金でございますけども、現在この9,600万円程度、27年度で予算、補正させていただきました。ということで、残りが6,800万円ということでございます。その6,800万円を28年度の当初予算のほうに組まさせていただきますんですけども、27年度の決算見込みによってはですね、まだまだ未確定財源がふえるであろうということも懸念をしております。

国保の30年からの広域化が迫っております。そのときにはですね、基本的に今、率とかはまだ未確定なんですけども、全県下、奈良県は他県とは違ってですね、全県同じ税率、料率にしたいという今の県の考え方でございます。それで、生駒市に住んでおられても、平群に住んでおられても、三郷に住んでおられても、皆さん、同じ所得であれば同じ料率、料金を払うという形をとりたいというのが県のやり方で、今そういう方向に進んでおります。

それでですね、今現在、27、28で赤字になろうとしておりますので、それに見合うだけの税率の見直しっていうのも急務になってくると思っております。それで30年度にはですね、県が示している標準料率に合わせ込んでいくという形をとらざるを得ないという形でございます。御存じだと思いますけども、平群町の保険税率っていうのは、県下でもほぼ38番目か、38か7番目ぐらいということで、今度標準料率にしたときにはですね、もうトップクラスに上がるであろうと言われております。その辺も踏まえてですね、28年度中にはですね、税率の見直しっていうのも考えていこうということでございます。

○議長

馬本君。

○12番

国民健康保険につきましては、一般会計の会計と異なってね、費用に応じてそれだけの、応分の収入を確保せねばならないというのが国民健康保険でございますので、28年度に入ったら早々にいろいろ検討していくという課長の御答弁ですので、ひとつよろしくお願いをしたいなというふうに思います。

○議長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ございませんか。ないようでしたら、議案第19号に対する質疑を終結いた

します。

続きまして、議案第20号 平成28年度平群町水道事業会計予算に対する
質疑に入ります。

ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第20号に対する質疑を終結いたします。

続きまして、議案第21号 平成28年度平群町下水道事業特別会計予算に
対する質疑に入ります。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第21号に対する質疑を終結します。

続いて、議案第22号 平成28年度平群町農業集落排水事業特別会計予算
に対する質疑に入ります。馬本君。

○12番

農業集落排水事業は非常に経費のかかる事業でございまして、県のほうから
農業集落排水事業につきましての元利償還金の助成交付金というお金をいただ
いているわけですが、たしか29年度で終わると思いますが、今回2
18万2,000円となっておりますが、29年度は幾ら、これが最終と思
いますが、その点もあわせて御答弁いただけますか。

○議 長

上下水道課長。

○上下水道課長

県からの助成交付金につきまして、議員お述べのとおり、今年度については
218万2,000円で、平成29年度で終わります。平成29年度につ
きましては3万7,000円ということになっております。

○議 長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第 22 号に対する質疑を終結いたします。

続いて、議案第 23 号 平成 28 年度平群町学校給食費特別会計予算に対する質疑に入ります。山口君。

○7 番

町内農産物使用、決算のときはいつももらってるんですが、予算でも当然、一定、計画されてると思うんでね、その資料は出していただけますでしょうか。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

地産地消の関係の資料につきまして、お出しできる範囲でちょっと考えてみたいと思います。

○議 長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第 23 号に対する質疑を終結します。

続いて、議案第 24 号 平成 28 年度平群町介護保険特別会計予算に対する質疑に入ります。窪君。

○10 番

23 ページの認知症総合支援事業についてですが、今、認知症の問題、徘徊とか、大変な状況になっておりますが、平群町のこれまでの、平成 27 年度の取り組みと、また今後の予定ですね。認知症対策の事業計画及び進捗状況についての資料請求をお願いしたいと思います。

○議 長

福祉課今田主幹。

○福祉課主幹（今田良弘）

ただいま資料請求がありました、認知症の関係の資料を用意させていただきます。

○議 長

ほか、ございませんか。植田君。

○6 番

資料請求。23 ページ、任意事業費、事業・業務委託料。配食なんですけど、

これの経年の年間の配食数、それから実人数、利用者人数、これを今までも出してもらってたと思うんですが、三年、四年の分をちょっと出していただけますか。

○議長

福祉課今田主幹。

○福祉課主幹（今田良弘）

ただいま資料請求のありました、配食サービスの経年の配食数、それから実人数を資料、出させていただきます。

○議長

ほか、ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第24号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第25号 平成28年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算に対する質疑に入ります。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第25号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第26号 平成28年度平群町後期高齢者医療特別会計予算に対する質疑に入ります。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第26号に対する質疑を終結します。

以上で、一般会計並びに各特別会計、水道事業会計の新年度予算案10件に対する質疑を終了いたします。

お諮りをします。

本案10件については、6人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思いますが、異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議長

異議なしと認めます。よって、本案10件については、6人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定をいたしました。

予算審査特別委員の名簿を配付いたします。

名簿配付

○議長

お諮りをいたします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会の委員の選任については、過般の議会運営委員会で内定しております。お手元に配付した名簿のとおり6名を選任いたしたいと思いますが、異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議長

異議なしと認めます。よって、ただいま配付いたしました名簿のとおり決定をいたしました。

なお、委員長に山田君、副委員長に窪君をお願いしたいと思いますが、異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議長

異議なしと認めます。

予算審査特別委員会は、3月7日に一般会計の審査、3月8日に各特別会計、水道事業会計の審査を行います。御多忙のところ恐縮ではございますが、予算審査特別委員会につきましてはよろしくお願いをいたします。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

これをもって散会いたします。

(ブー)

散 会 (午後 4 時 3 5 分)